

令和7年度 防災・減災に関する県民意識調査結果

1 調査の目的及び集計結果の概要

(1) 調査の目的

- 広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の令和7年度の取組実績の把握
- 運動を進める上での課題の抽出や、その解決方策の検討

- (ア) 対象者 : 県内在住の満18歳以上の男女5,000人
- (イ) 調査期間 : 令和8年1月14日(水)～2月6日(金)
- (ウ) 有効回答数 : 2,562件 (回答率 51.2%)

(2) 集計結果の概要

①全体指標

| 行動計画に掲げる成果指標項目 | 調査結果 | | R7年度 (目標) |
|--------------------------|------------|--------------|--------------|
| | R7 (2月) | R8 (2月) | |
| 5つの行動目標(②)を全て実践している人の割合 | 31.4% | 33.0% | 50.0% |
| 避難の準備行動(①かつ②)ができていない人の割合 | 15.7% | 17.9% | |

【参考】「避難の準備行動ができていない」の構成要素

| | | |
|---|--------|------------------------------|
| ① | 【行動する】 | マイ・タイムラインの作成 |
| | 【知る】 | 災害の種類に応じた、避難場所・避難経路の確認 |
| ② | 【察知する】 | 災害リスク情報を自ら入手するためのツールを確保 |
| | 【行動する】 | 防災教室・防災訓練への参加 |
| | 【学ぶ】 | |
| | 【備える】 | 非常持出品を用意し、かつ3日分以上の食糧及び飲料水を備蓄 |

②個別指標

| 行動目標 | 行動計画に掲げる成果指標項目 | 調査結果 | | R7年度 (目標) |
|--------|---------------------------------------|------------|--------------|--------------|
| | | R7 (2月) | R8 (2月) | |
| 知る | 災害の種類に応じた避難場所・避難経路を確認した人の割合 | 66.4% | 70.2% | 100% |
| | 水害・土砂災害リスクの認知度 | 70.5% | 73.9% | 100% |
| 察知する | 災害リスク情報を自ら入手するためのツールを確保している人の割合 | 83.2% | 84.3% | 80.0% |
| 行動する | マイ・タイムラインを作成している人の割合 | 21.4% | 25.1% | 60.0% |
| 行動する学ぶ | 防災教室・防災訓練へ参加した人の割合 | 62.8% | 62.4% | 60.0% |
| 備える | 非常持出品を用意し、かつ3日以上以上の食糧及び飲料水を備蓄している人の割合 | 63.4% | 62.4% | 70.0% |
| | 家具等の転倒防止を行っている人の割合 | 65.7% | 66.6% | 70.0% |

2 集計結果の分析等

調査の集計結果について、広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動推進会議の委員である有識者2名から、防災や社会心理学の観点での分析や示唆をいただいた。(有識者) 広島大学大学院人間社会科学研究科 教授 坂田 桐子 氏 (社会心理学)
山口大学大学院創成科学研究科 准教授 瀧本 浩一 氏 (防災)

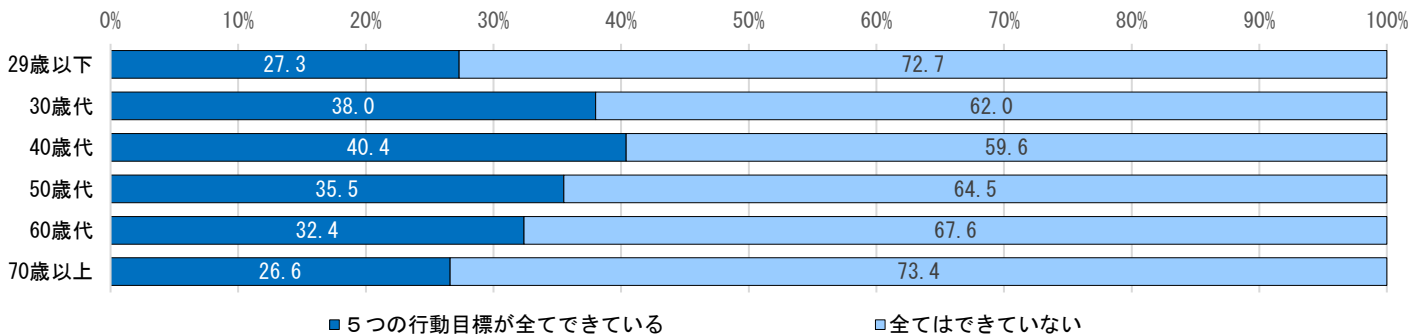
3 行動計画に掲げる成果指標ごとの分析概要

(1) 全体指標

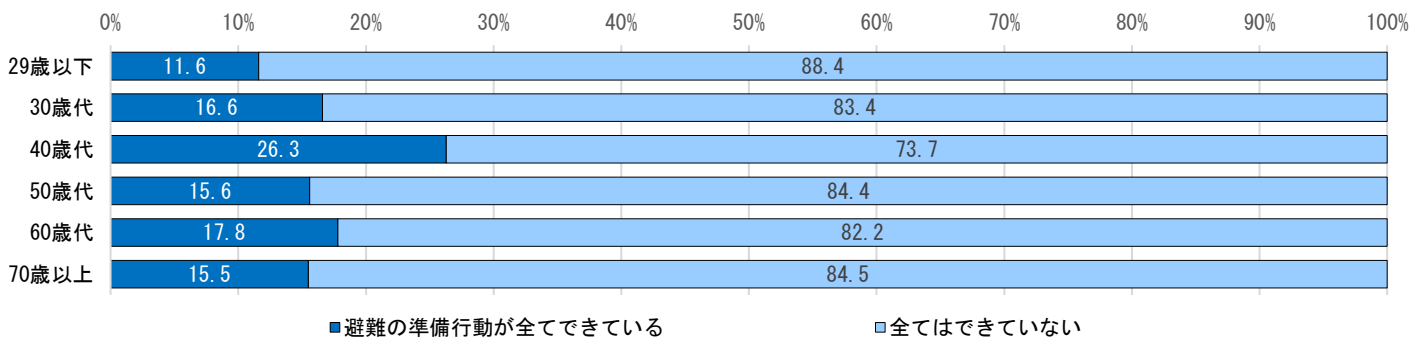
| 行動計画に掲げる成果指標項目 | 調査結果 | | R7年度 (目標) |
|-----------------------------|------------|--------------|--------------|
| | R7 (2月) | R8 (2月) | |
| 5つの行動目標(②)を全て実践している人の割合 | 31.4% | 33.0% | 50.0% |
| 避難の準備行動(①かつ②)が できている人の割合 | 15.7% | 17.9% | |

- 5つの行動目標を全て実践している人の割合について、年代別では「40歳代(40.4%)」が最も多くなっている。
- 避難の準備行動ができている人の割合について、年代別では「40歳代(26.3%)」が最も多くなっている。

<5つの行動目標を全て実践している人の割合「年代別」>



<避難の準備行動ができている人の割合「年代別」>



ア 有識者による分析や示唆など

- 成果指標は、目標値には届いていないが、少しずつ向上している。
- 避難の準備行動ができている人の割合が低いのは、マイ・タイムラインを作成している人の割合が少ないことが影響しているため、更なるマイ・タイムラインの周知・啓発に努める必要がある。
- 5つの行動目標のうち、「知る」「察知する」に比べて「行動する」「備える」の実践率が相対的に低いため、防災を行動に移すことができていない層が一定数いると考えられる。

イ 有識者による分析や示唆を受けての取組等

- 避難の準備行動ができている人の割合は、5つの要素（個別指標）によって構成されているため、取組等については個別指標の項目において記載する。

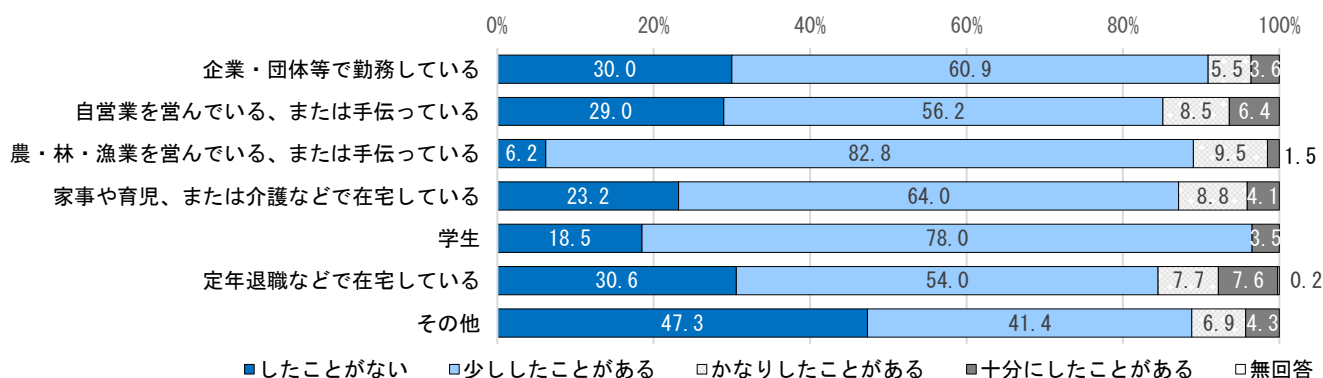
(2) 【行動目標】身の回りの災害危険個所などを「知る」

| 行動計画に掲げる成果指標項目 | 調査結果 | | R7年度 (目標) |
|-----------------------------|------------|------------|--------------|
| | R7 (2月) | R8 (2月) | |
| 災害の種類に応じた避難場所・避難経路を確認した人の割合 | 66.4% | 70.2% | 100% |
| 水害・土砂災害リスクの認知度 | 70.5% | 73.9% | 100% |

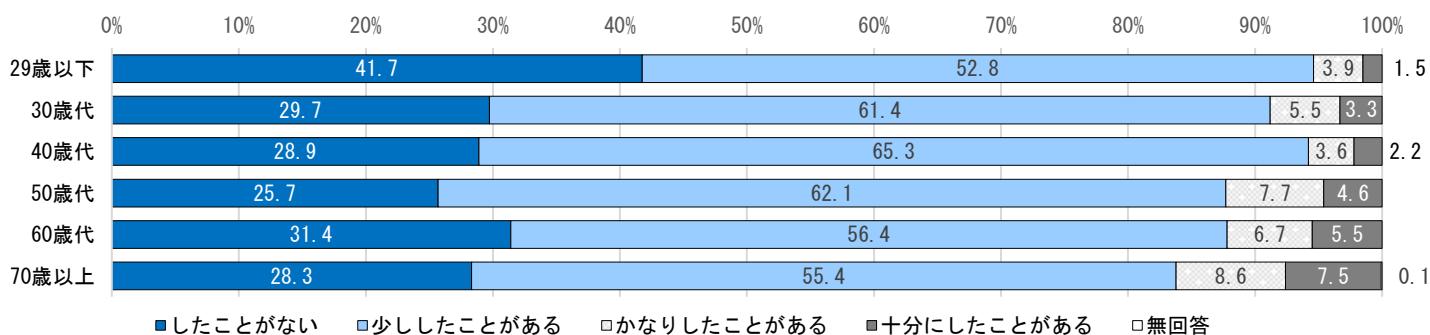
- 避難場所・避難経路を確認した人の割合について、生活形態別（※）では、「農林漁業（93.8%）」が最も多く、次いで「学生（81.5%）」となっている。
- 水害リスクの認知度について、年代別では40歳代以上で7割を超えているが、30歳代以下では6割台半ばとなっている。
- 土砂災害リスクの認知度について、年代別では30歳代以上で7割を超えているが、29歳以下では6割台半ばとなっている。

※ 生活形態の分類 ～ 「企業・団体勤務」、「自営業」、「農林漁業」、「家事や育児で在宅」、「学生」、「定年退職などで在宅」

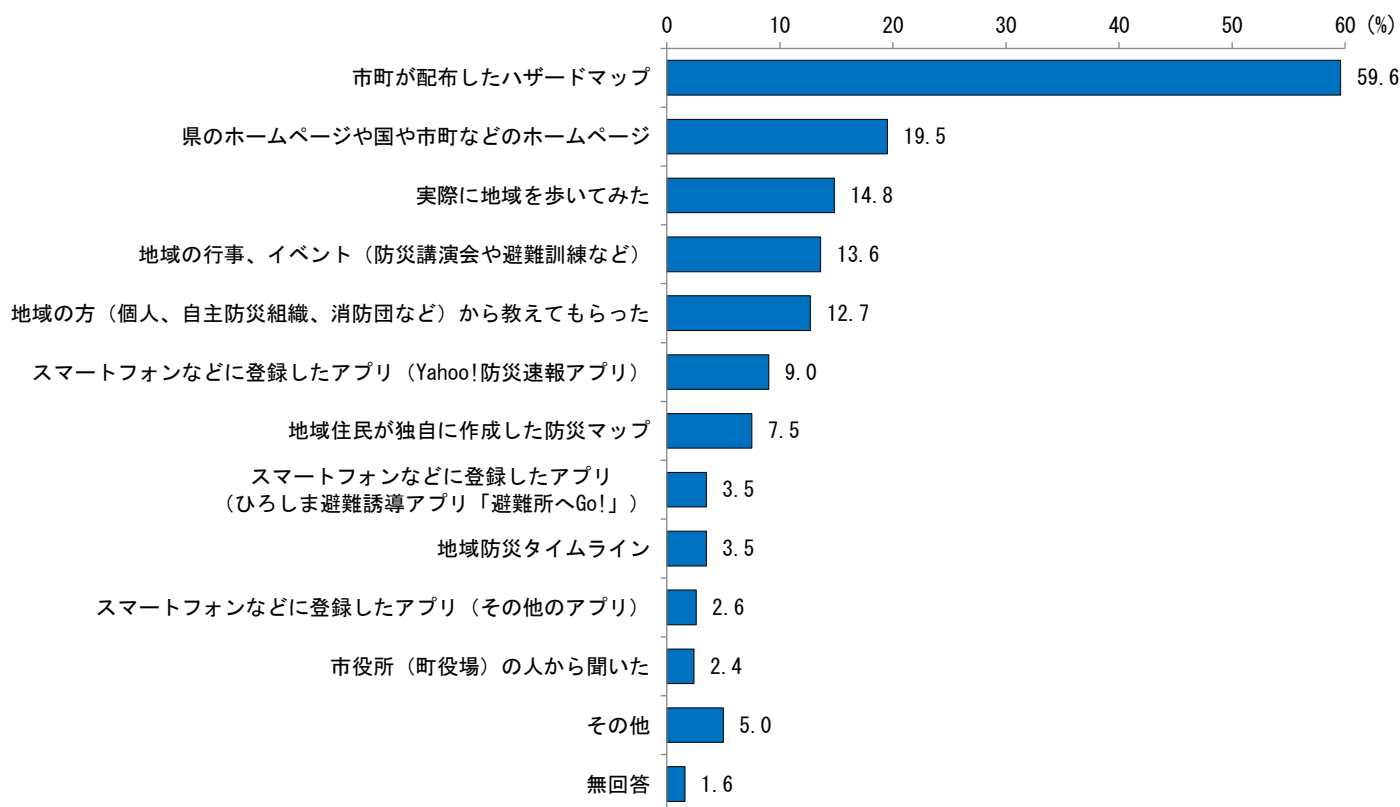
<避難場所や避難経路の確認の有無「生活形態別」>



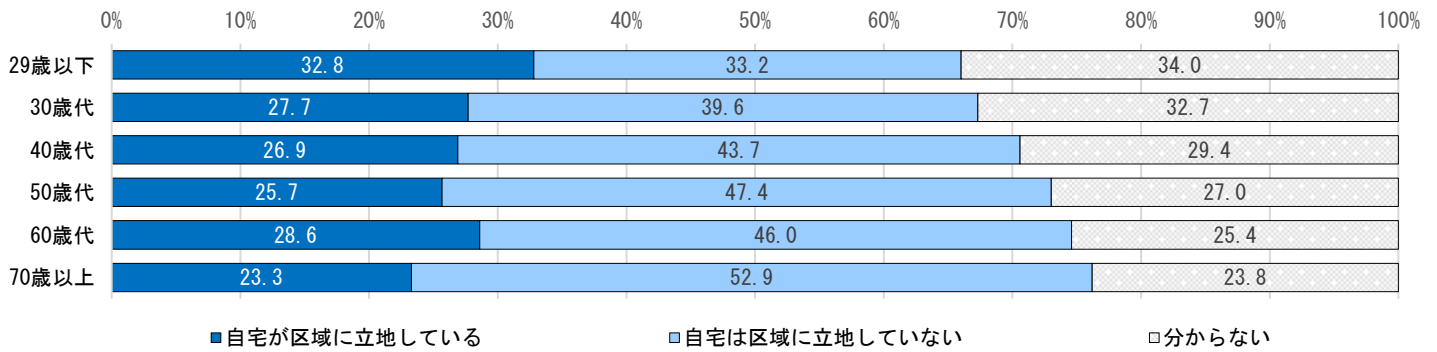
<避難場所や避難経路の確認の有無「年代別」>



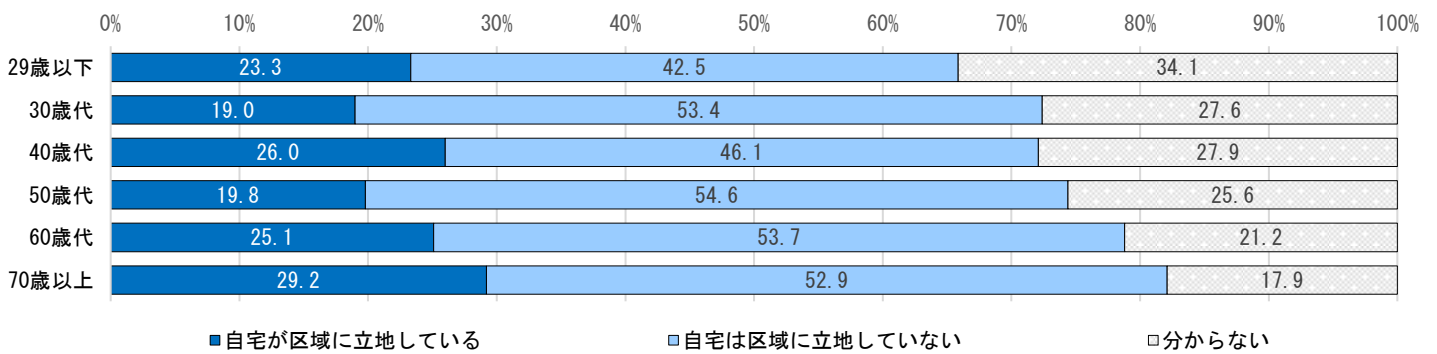
<避難場所や避難経路の確認方法>



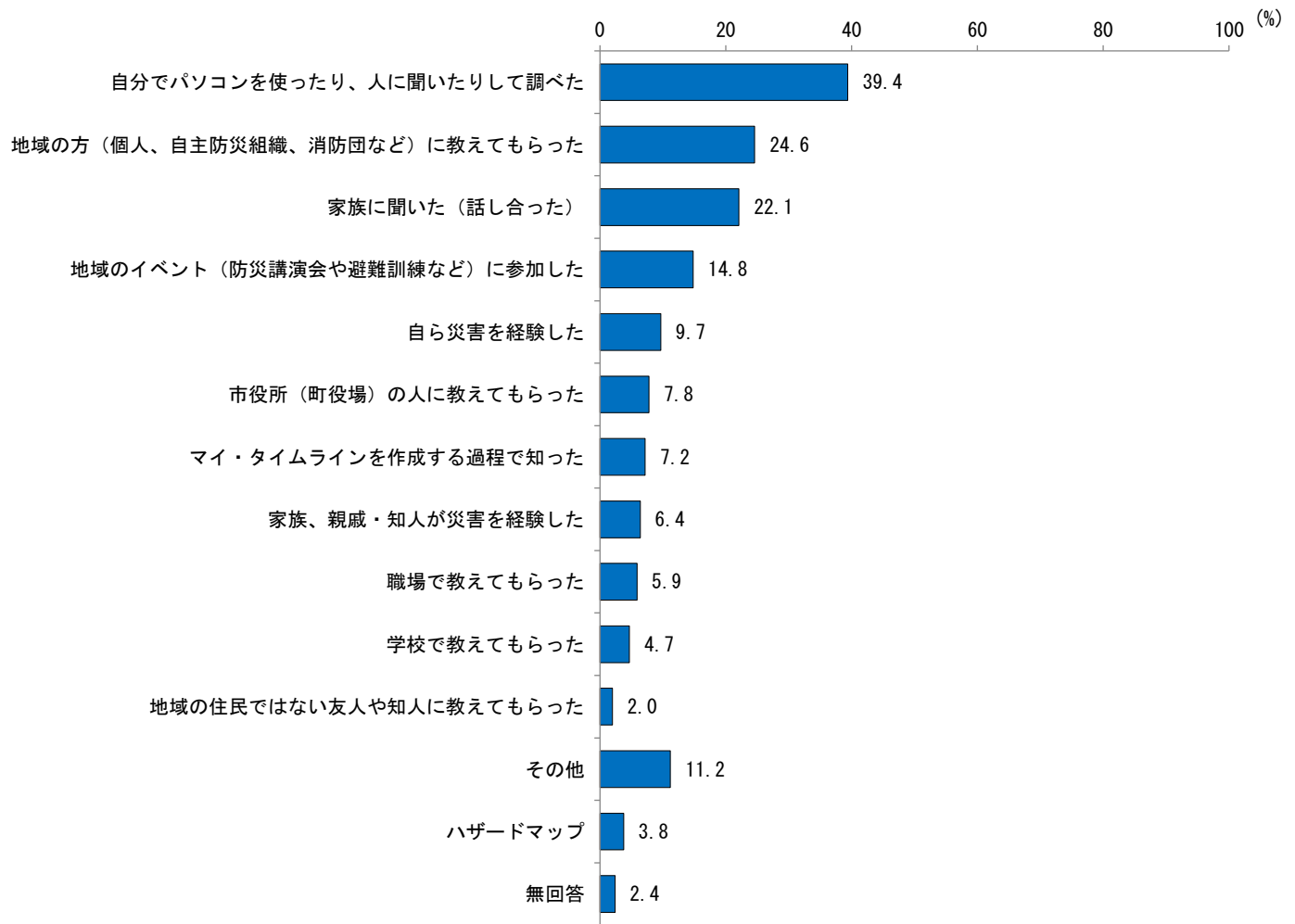
<洪水浸水想定区域の認知度「年代別」>



<土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域の認知度「年代別」>



<災害の危険性の有無を知ったきっかけ>



ア 有識者による分析や示唆など

- 避難場所・避難経路を確認した人のうち、生活形態別の「農林漁業等(93.8%)」の割合が多い点については、職場の立地場所及び居住地が災害による被害の影響を一番受けやすい地域の住民であるため、他の生活形態よりも敏感に行動したためと考えられる。
- 年代別では、29歳以下では「したことがない」が4割を超えている。29歳以下のうち、生活形態別の「学生」では、避難経路を確認している割合は8割を超えていることから、各学校で実施されている防災教育による効果が表れた結果であると考えられる。
このことから、学生ではない29歳以下の層に避難経路の確認を啓発する必要がある。
- 避難場所や避難経路の確認方法について、「市町が配布したハザードマップ(59.6%)」が最も多いことから、引き続き、関係者と連携して県民に居住地のハザードマップを確認するよう啓発を図っていく必要がある。
- 災害の危険性の有無を知ったきっかけとして、全体では「自分でパソコンを使ったり、人に聞いたりして調べた(39.4%)」が最も多いが、29歳以下では「学校で教えてもらった(28.4%)」が他の年代に比べて多く、災害の危険性の有無について、「分からない(34.0%)」と回答した割合も昨年度から減っていることから、学校での教育が奏功している可能性があるため、引き続き学校での啓発を続ける必要がある。
- 70歳以上では「地域の方(個人、自主防災組織、消防団など)に教えてもらった(41.0%)」、「地域のイベントに参加した(30.8%)」が他の年代に比べて多いことから、高齢者層には地域の間人関係やイベントを通じた呼びかけが有効と考えられる。

イ 有識者による分析や示唆を受けての取組等

- 企業や事業所等に対し、自社の社員への災害リスクの認識向上や避難所の確認等の啓発を行うよう働き掛ける。
- 引き続き、関係機関と連携し、小学校等への防災出前講座を継続して実施するとともに、中学校での防災eラーニング教材の活用を促進する。
- テレビ・ラジオなどのマスメディアや、市町の広報誌、SNS等、様々な媒体を通じて、県民へハザードマップの確認を働き掛ける。

- 市町や自主防災組織、防災リーダー等と連携して、災害時の避難の呼びかけと個人の避難行動を一体的に確認する「地域防災タイムライン」を活用した避難訓練などの実践的な取組を実施し、災害時の避難行動や避難場所・避難経路の確認を促進する。
- 引き続き、災害リスク情報をホームページや SNS 等あらゆる媒体を通じて発信するとともに、関係機関と連携し、市町が行う防災リーダー等の研修や、地域の防災訓練、防災イベントへの講師派遣等を通じて、県民の災害リスクへの関心を高めるよう取り組む。

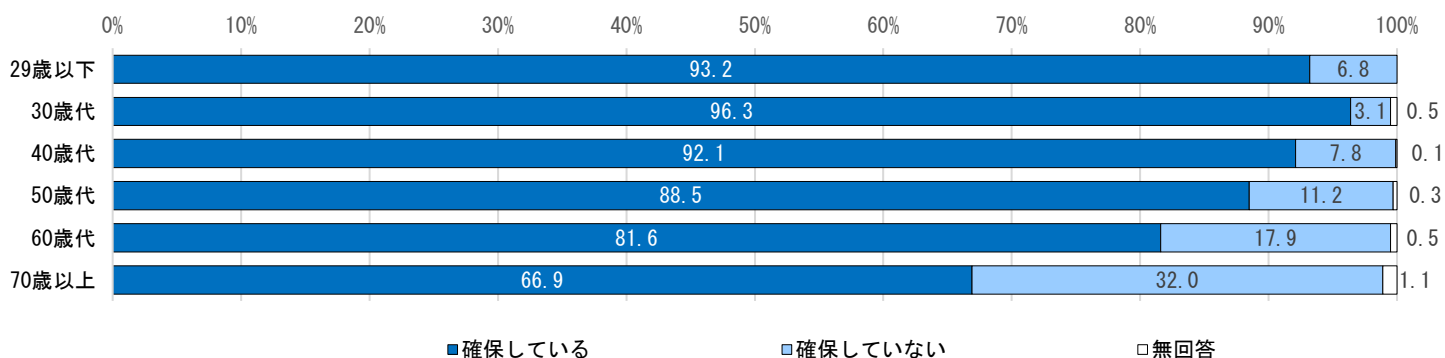
(3) 【個別指標】 災害発生の危険性をいち早く「察知」する

| 行動計画に掲げる成果指標項目 | 調査結果 | | R7 年度 (目標) |
|------------------------------------|------------|--------------|---------------|
| | R7 (2月) | R8 (2月) | |
| 災害リスク情報を自ら入手するためのツール(※)を確保している人の割合 | 83.2% | 84.3% | 80.0% |

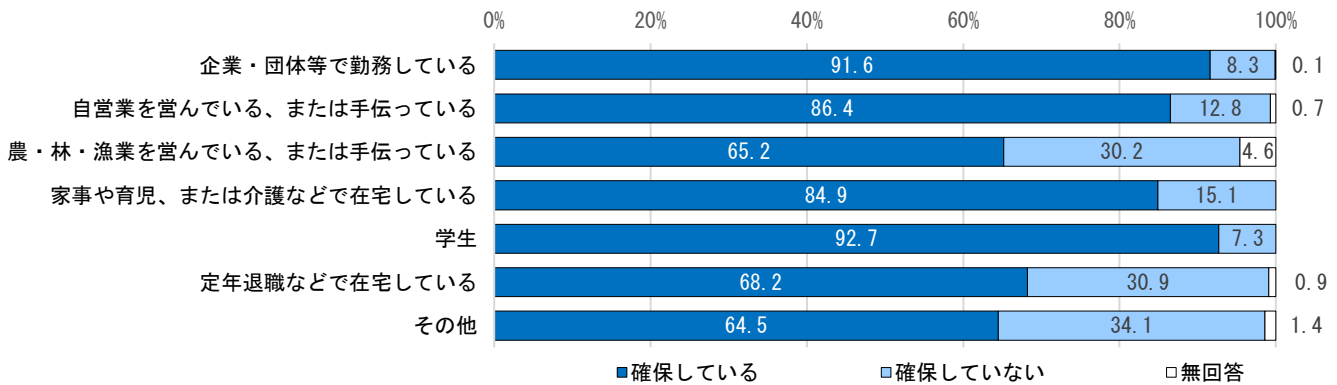
※防災情報メールや防災情報アプリ、SNS など

- 災害リスク情報を入手するためのツールを確保している人の割合について、年代別では 40 歳代以下では 9 割を超えており、生活形態別では「企業・団体等で勤務している」、「学生」が 9 割を超えている。

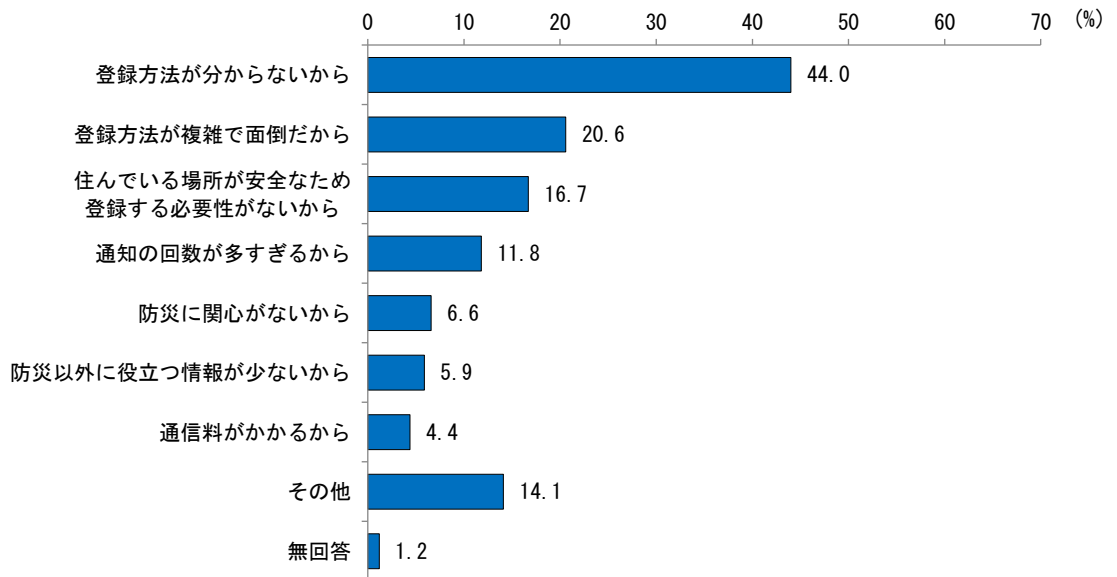
<災害リスク情報の入手ツールの確保「年代別」>



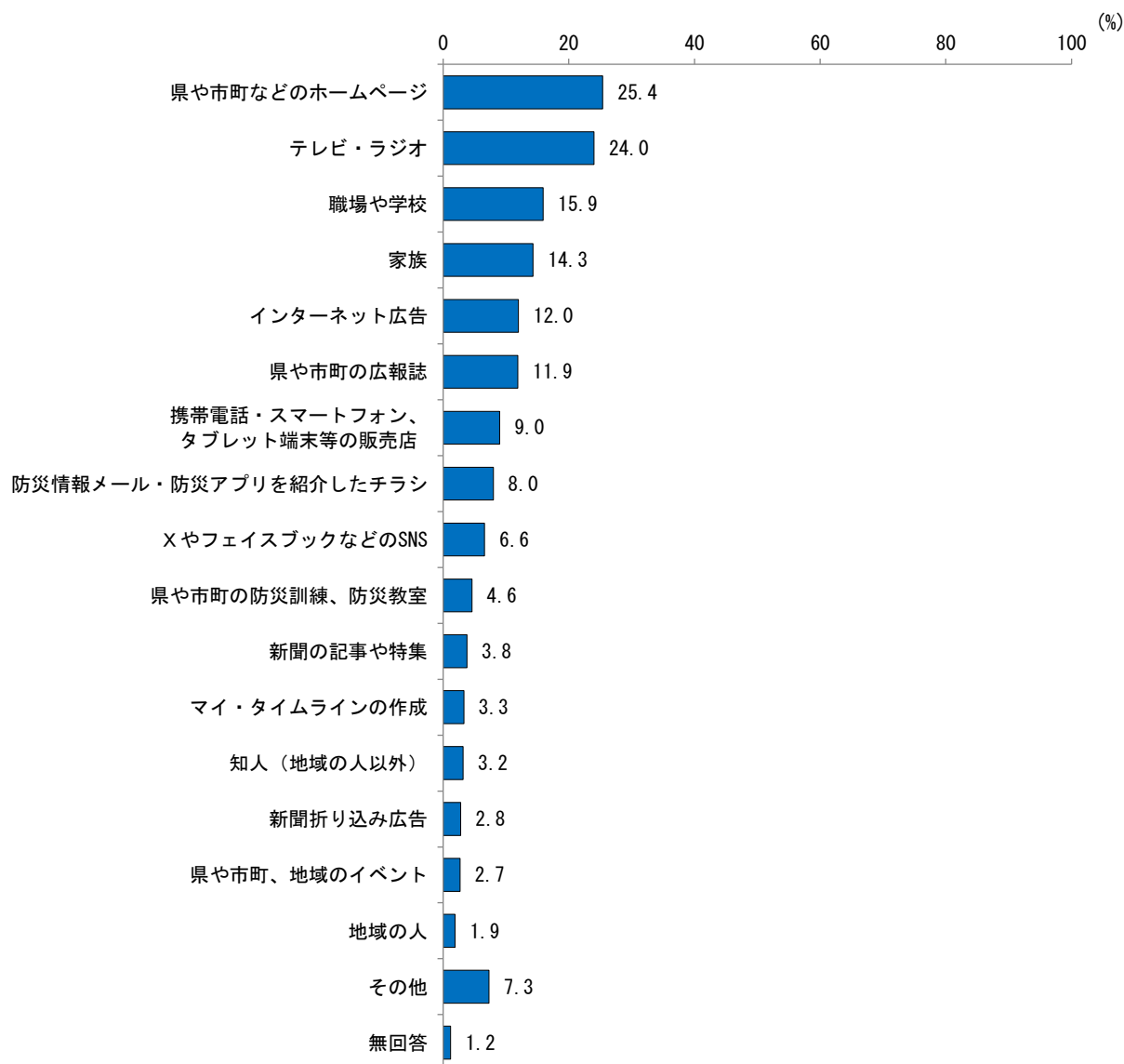
<災害リスク情報の入手ツールの確保「生活形態別」>



<防災メール・防災アプリなどを登録していない理由>



<防災情報メール・防災アプリなどを登録したきっかけ>



ア 有識者による分析や示唆など

- 災害リスク情報の入手ツールを確保している人の割合は、全体で8割を超えており、かなり高い水準となっている。一方で、依然としてメールやアプリの登録方法がわからない県民もいるので、引き続き各行政機関や民間企業、団体による啓発活動が不可欠と考えられる。
- 防災メール等を登録していない理由として、70歳以上では「登録方法がわからないから（55.3%）」が最も多いことから、高齢者層に対しては登録に関して周囲の支援が必要である。
- また、29歳以下では、「防災に関心がないから（21.9%）」が他の年代に比べて多い。29歳以下では、防災メール等を登録したきっかけとして、「XやフェイスブックなどのSNS（22.7%）」が最も多いことから、SNSなども活用して防災の必要性や有益性を啓発する必要がある。

イ 有識者による分析や示唆を受けての取組等

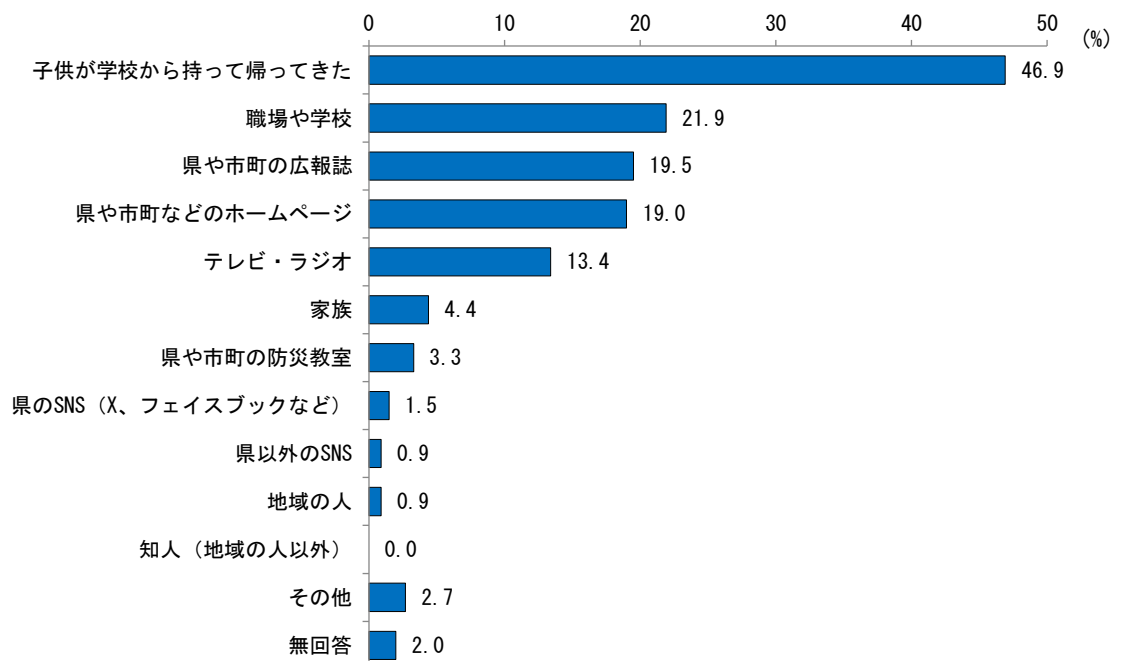
- 引き続き「みんなで減災」県民総ぐるみ運動推進会議の構成団体等と連携し、テレビ・ラジオなどのマスメディアや、市町の広報誌、SNS等、様々な媒体を通じて広報する。
- 災害の危険性が高まった際のプッシュ通知機能を備えた「LINE版マイ・タイムライン」の普及を促進する。
- 防災への関心が低い層に対しては、SNSなども活用しながら、防災の必要性や有益性を啓発し、情報入手ツールの確保を促していく。
- 引き続き自主防災組織による避難の呼びかけ体制の構築・実践に取り組むとともに、地域防災タイムラインを活用し、呼びかけの実践とマイ・タイムライン作成を一体的に進め、地域全体での適切な避難行動を促進する。

(4) 【個別指標】自ら判断して適切に「行動する」及び
防災教室や防災訓練などで「学ぶ」

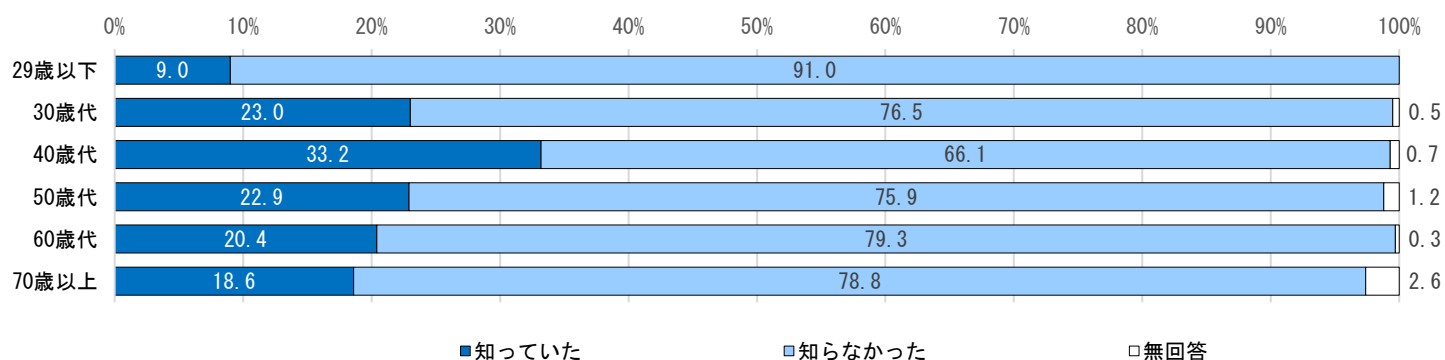
| 行動計画に掲げる成果指標項目 | 調査結果 | | R7年度 (目標) |
|----------------------|------------|------------|--------------|
| | R7 (2月) | R8 (2月) | |
| マイ・タイムラインを作成している人の割合 | 21.4% | 25.1% | 60.0% |
| 防災教室・防災訓練へ参加した人の割合 | 62.8% | 62.4% | 60.0% |

- マイ・タイムラインを知ったきっかけは、「子供が学校から持って帰ってきた (46.9%)」が最も多く、次いで「職場や学校 (21.9%)」となっている。
- マイ・タイムラインを作成していない理由として、「マイ・タイムラインを知らなかった (53.8%)」が最も多くなっている。
- 防災教室・防災訓練への参加割合として、生活形態別の「学生」では8割を超えているが、「定年退職などで在宅」では4割台となっている。
- 防災教室・防災訓練に参加しなかった理由として、「実施していることを知らなかった (40.5%)」が最も多く、次いで「仕事や家事、育児で忙しかったから (29.7%)」となっている。

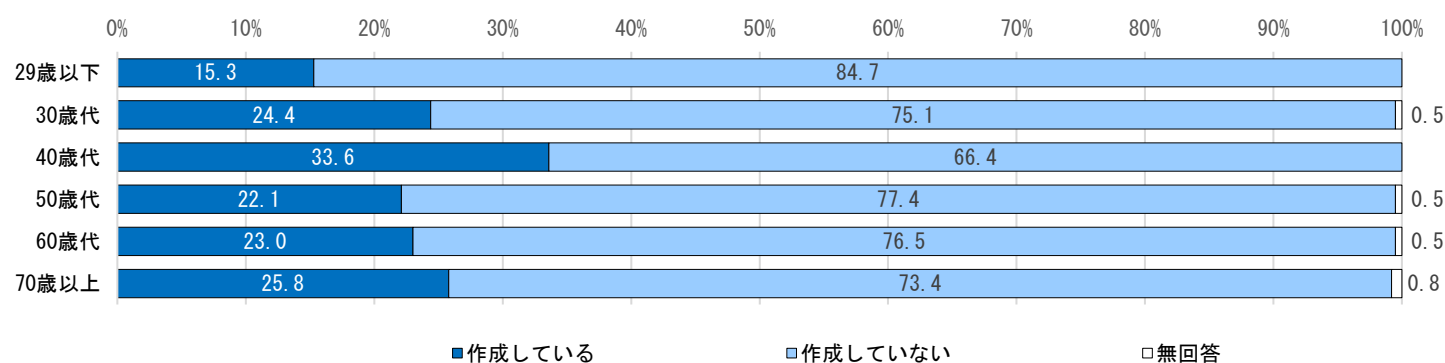
<「マイ・タイムライン」を知ったきっかけ>



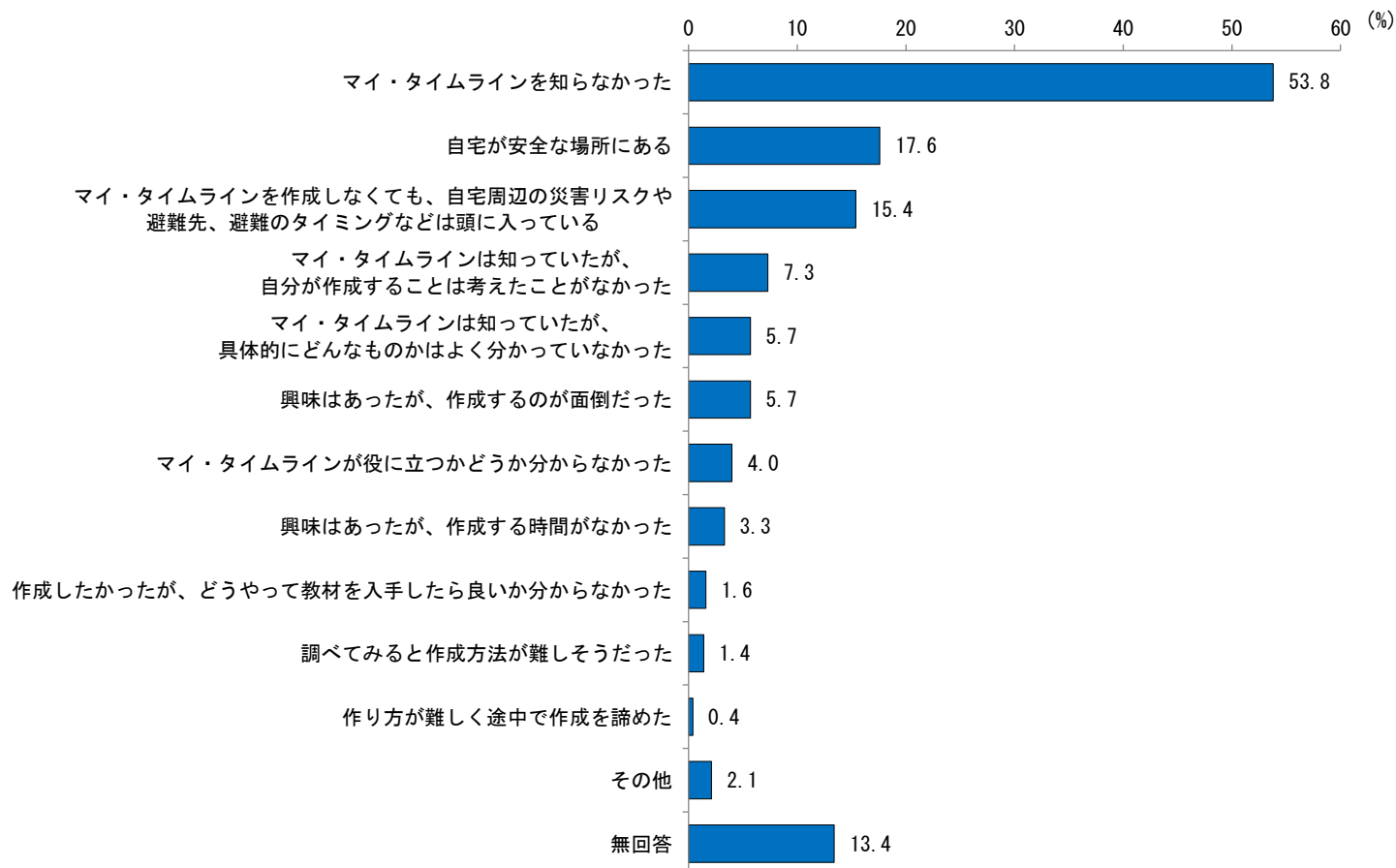
<マイ・タイムラインの認知度「年代別」>



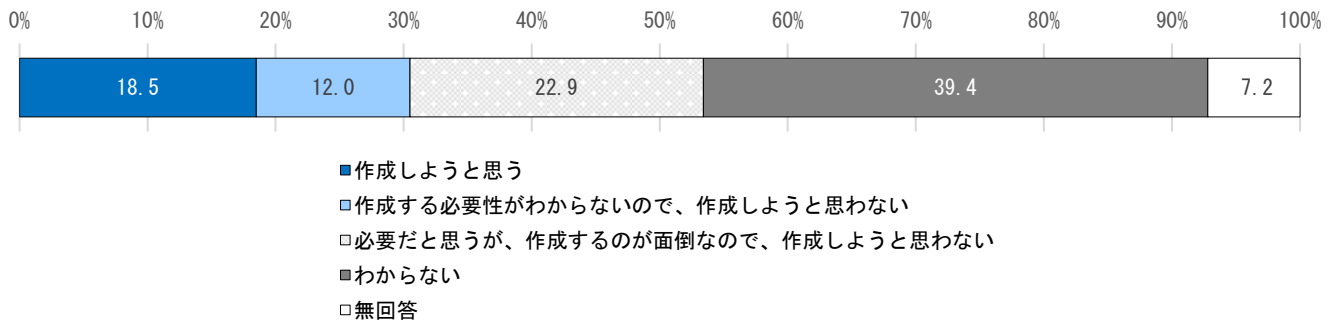
<マイ・タイムライン作成の有無「年代別」>



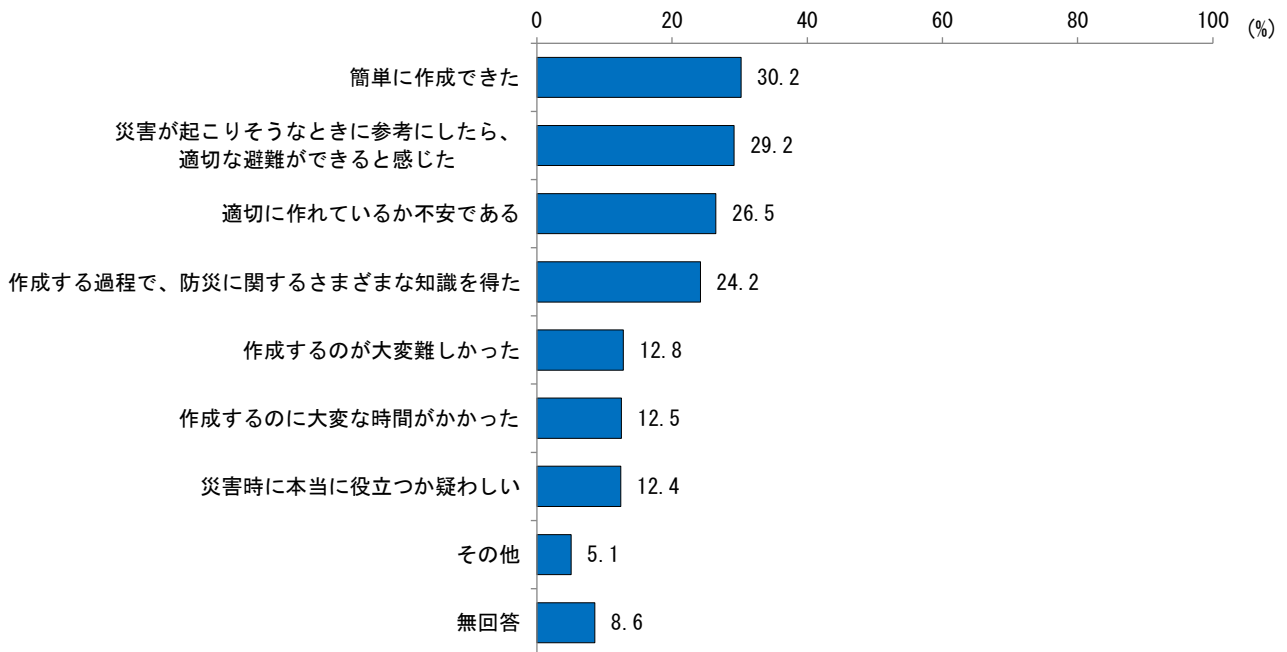
<マイ・タイムラインを作成していない理由>



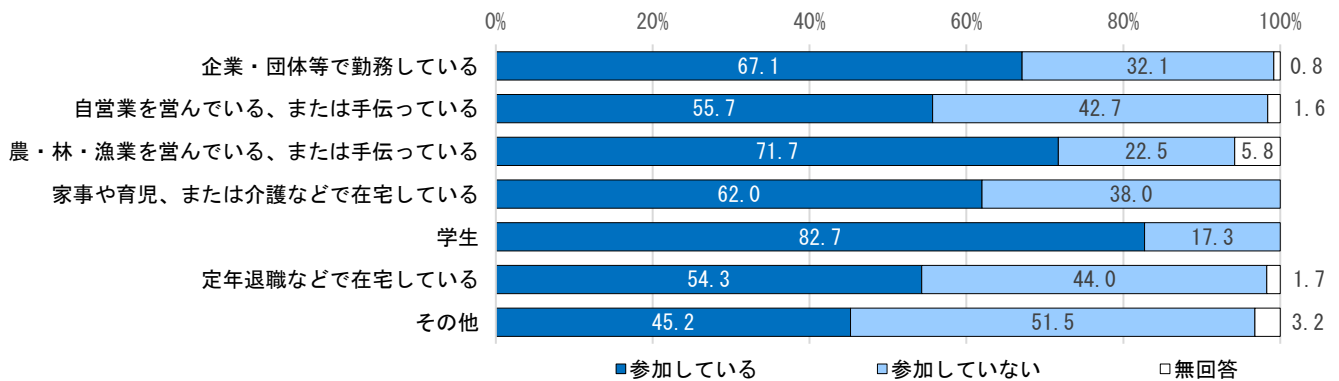
<これからマイ・タイムラインを作成しようと思うか>



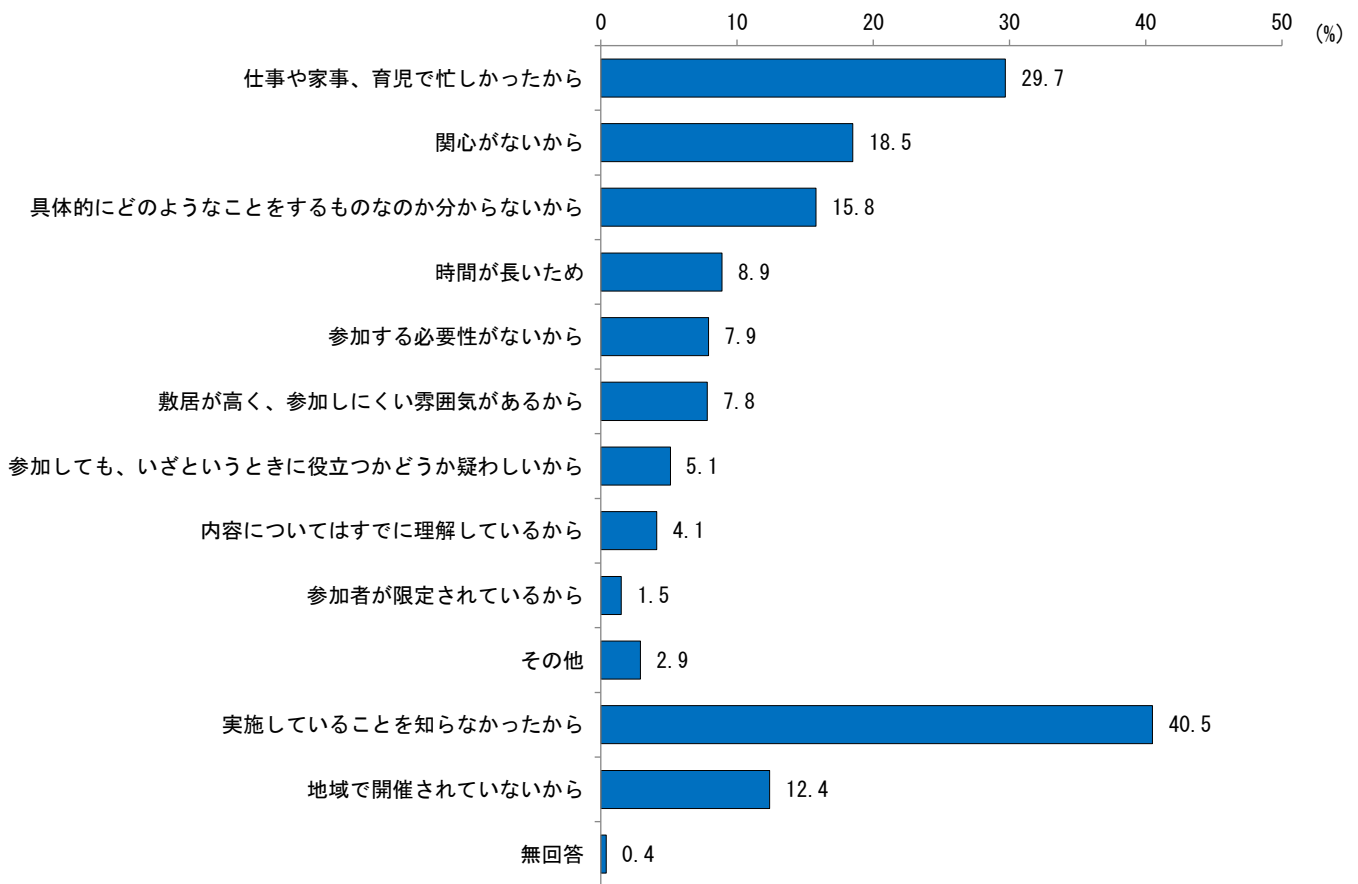
<マイ・タイムラインを作成してどう感じたか>



<防災教室・防災訓練への参加状況「生活形態別」>



<防災教室・防災訓練に参加しなかった理由>



ア 有識者による分析や示唆など

- マイ・タイムラインを作成した人の割合は、少しずつではあるが、毎年確実に増えているため、これまで実施してきた周知や啓発を今後も粘り強く続ける必要がある。
- 作成しようと思ったきっかけとして、50歳代では30歳代・40歳代と同様に「子どもが学校から持って帰ってきたから(64.2%)」が最も多くなっている。60歳代では「広島県が作成を推奨していることを知ったから(47.6%)」や「災害に対する報道を見て必要だと思ったから(46.1%)」が多く、70歳以上ではこれらに加えて「防災教室や防災講演会などで作ることを勧められたから(47.5%)」も多いことから、これまでの防災教室等での周知、啓発や、災害に関する報道での言及が奏功したことが考えられる。
- 一方で、子どもが学校から持って帰ってきたからという回答が多いことは、児童・生徒のいる保護者層以外には情報が届きにくいことが考えられるため、保護者層以外への働きかけに効果的な手段を整理し、強化していく必要がある。
- マイ・タイムラインを作成していない理由として、昨年度と変わらず「マイ・タイムラインを知らなかった(53.8%)」が最も多いこと、また「これからマイ・タイムラインを作成しようと思う(18.5%)」も昨年度から横ばいとなっている。
- 実際に作成した人の感想は、「簡単に作成できた(30.2%)」、「適切な避難ができると感じた(29.2%)」など肯定的なものが多いため、引き続きマイ・タイムラインの有効性を周知していく必要がある。
- 防災教室・防災訓練へ参加した人の割合は目標値を達成しているが、昨年度から横ばいとなっている。これは、啓発や呼びかけが届かない層が一定数いると考えられる。
- 防災教室・防災訓練に参加しなかった理由として、「実施していることを知らなかったから(40.5%)」が最も多いことから、引き続き開催の周知が必要である。

イ 有識者による分析や示唆を受けての取組等

- マイ・タイムラインを活用した小学校での出前講座に引き続き取り組むとともに、中学校向けの防災eラーニング教材の活用を促進する。
- 企業向けの防災出前講座や大学等と連携したマイ・タイムラインの普及啓発など、児童・生徒のいる保護者層以外を対象とした取組を促進する。

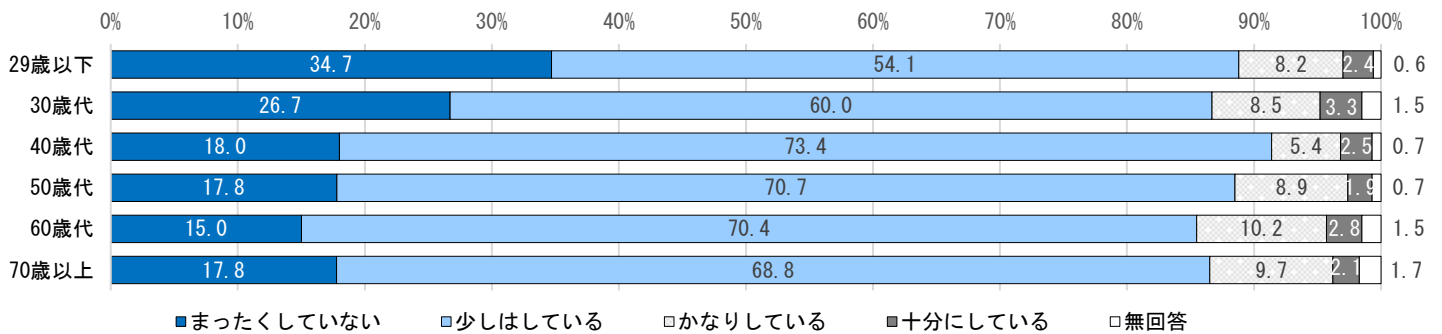
- 簡易にマイ・タイムラインを作成できる LINE 版マイ・タイムラインの普及を進め、マイ・タイムラインの認知度向上と作成促進を図る。
- 市町や自主防災組織、防災リーダー等と連携して、地域防災タイムラインを活用した避難訓練などの実践的な取組を実施し、災害リスクを確認できるツールとしてのマイ・タイムラインの活用を促すとともに、災害時の避難行動や避難場所・避難経路の確認を促進する。
- 市町や企業、関係団体を通じて、マイ・タイムラインの活用、一斉防災教室・一斉地震防災訓練への参加を働きかける。
- 一斉防災教室の参加促進に際しては、教材であるマイ・タイムラインの作成過程において、様々な防災知識を得ることができるなど、マイ・タイムラインの有効性についても広報する。

(5) 【個別指標】非常持出品等を準備するなど災害に「備える」

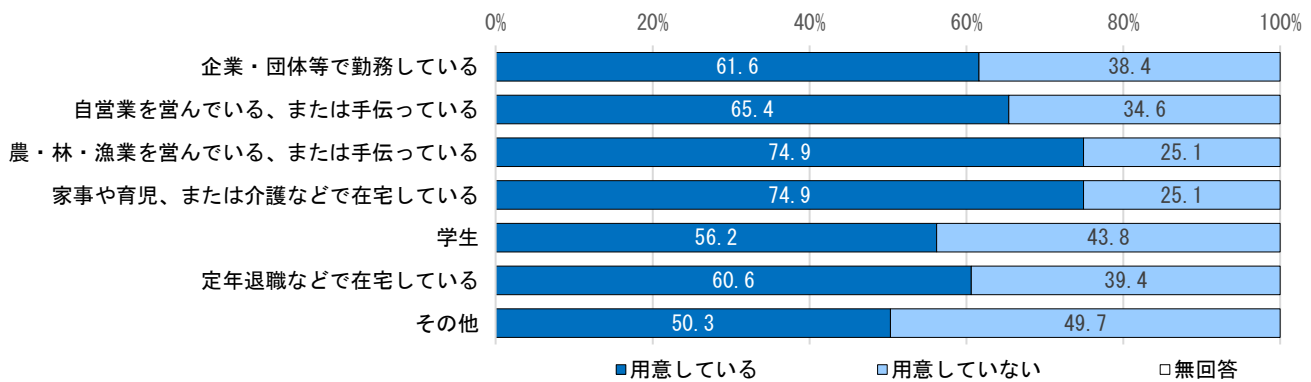
| 行動計画に掲げる成果指標項目 | 調査結果 | | R7 年度 (目標) |
|--------------------------------------|------------|------------|---------------|
| | R7 (2月) | R8 (2月) | |
| 非常持出品を用意し、かつ3日分以上の食糧及び飲料水を備蓄している人の割合 | 63.4% | 62.4% | 70.0% |
| 家具等の転倒防止を行っている人の割合 | 65.7% | 66.6% | 70.0% |

- 非常持出品を用意している人の割合について、40歳代以上では8割を超えている。
- 備蓄を行わない理由は、「何をどれくらい買っておけば良いか分からないから (31.2%)」が最も多く、次いで「普段から食料品を数日分買って、災害時に使うつもりだから (27.6%)」となっている。
- 家具などの転倒防止の実施状況について、年代別では30歳代以上で6割を超えているが、29歳以下では5割台半ばとなっている。
- 家具などの転倒防止を行っていない理由として、「倒れそうな家具等はあるが、倒れても支障がないところに置いてあるから (35.8%)」が最も多く、次いで「手間や費用がかかるから (24.3%)」となっている。

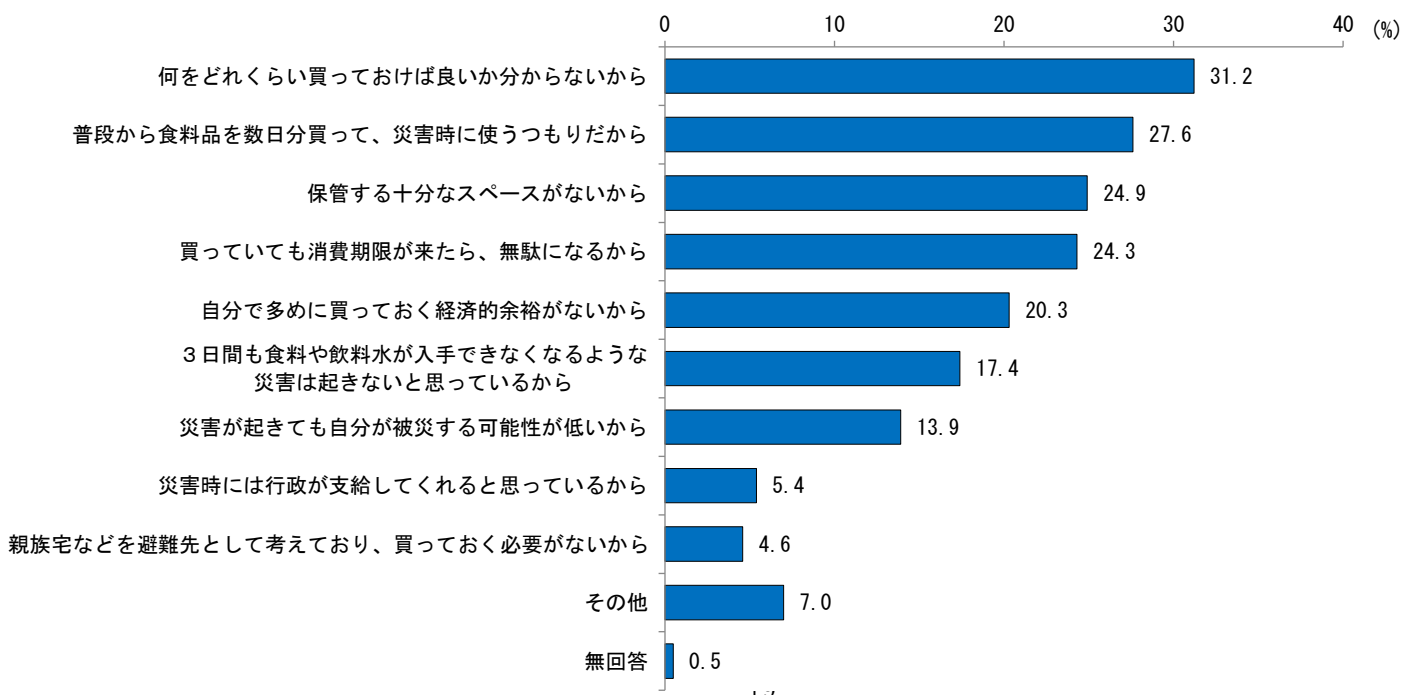
<非常持出品を用意している人の状況「年代別」>



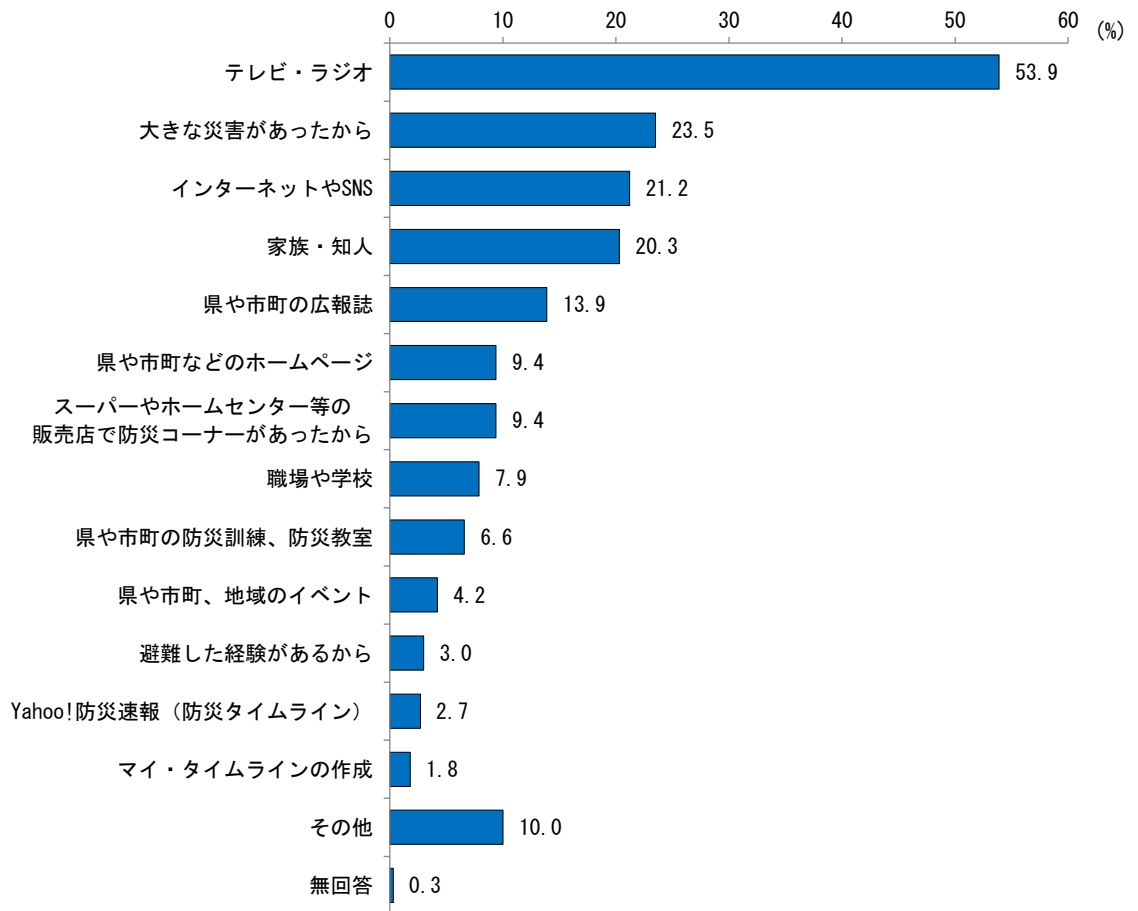
<非常持出品を準備し、かつ3日以上食料品等の備蓄を用意している人の割合「生活形態別」>



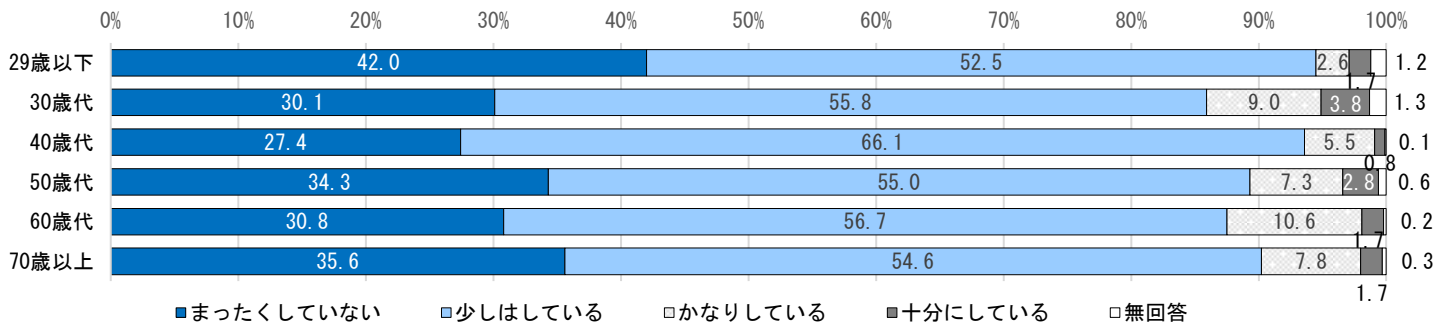
<備蓄を行わない理由>



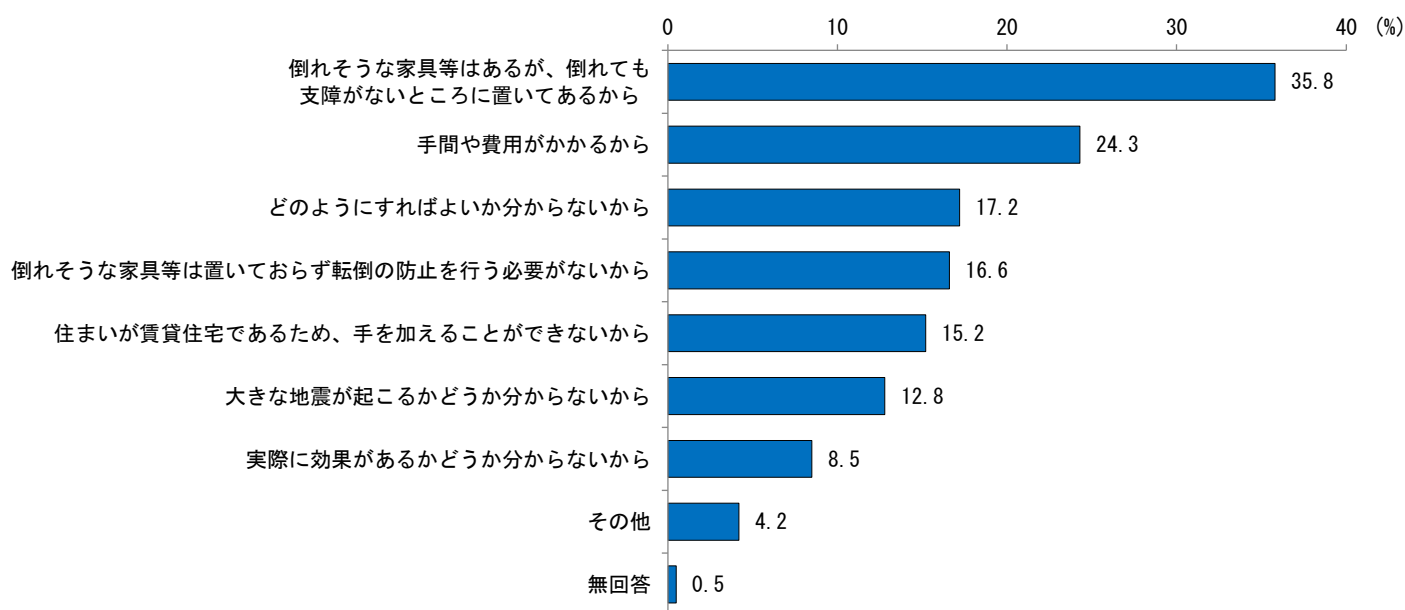
<備蓄を行ったきっかけ>



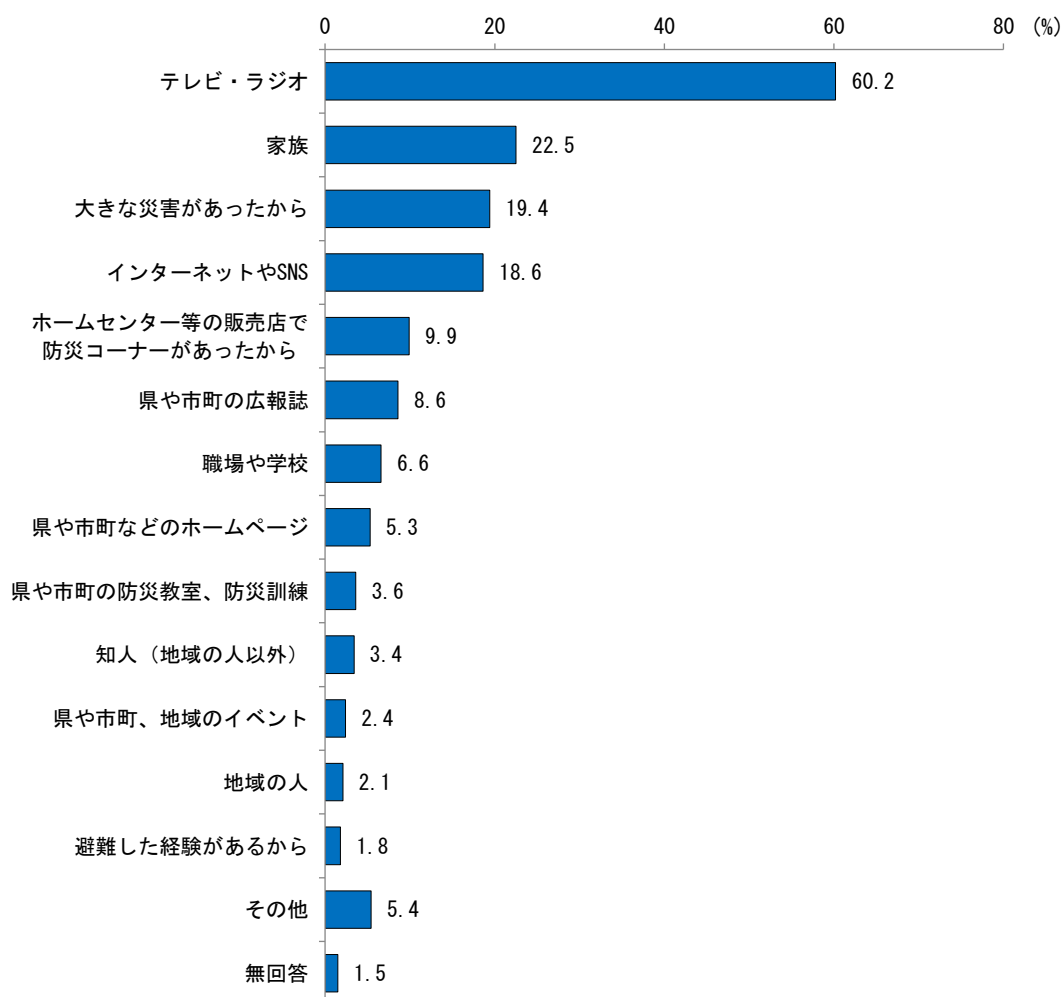
<家具などの転倒防止の実施状況「年代別」>



<家具などの転倒防止を行っていない理由>



<家具などの転倒の防止を行ったきっかけ>



ア 有識者による分析や示唆など

- 備蓄をしていない理由として、29歳以下では「何をどれくらい買っておけば良いか分からないから(47.1%)」が特に多く、「保管する十分なスペースがないから(43.1%)」も他の年代に比べて多いことから、最低限、何をどの程度備蓄すべきか、スペースを取らない備蓄方法など、引き続き具体的な備蓄方法を啓発する必要がある。
- 備蓄を行ったきっかけとして、「テレビ・ラジオ(53.9%)」に加え、29歳以下や30歳代では「インターネットやSNS(33.3%)」、70歳以上では、「県や市町の広報誌(32.6%)」が他の年代に比べて多く選択されていることから、マスメディア、SNS、広報誌などの多様なルートで啓発する必要がある。
- また、「スーパーやホームセンター等の販売店で防災コーナーがあったから」も、家事・育児・介護等で在宅している層や企業・団体勤務者、学生では1割を超えており、身近な販売店での啓発(商品棚に直接表示するなどの工夫)といった日常の生活圏の中で、防災について目にする機会を増やすことも備蓄の実施を後押しすると考えられる。
- 家具の転倒防止を行ったきっかけは、「テレビ・ラジオ(60.2%)」「家族(22.5%)」「大きな災害があったから(19.4%)」「インターネットやSNS(18.6%)」が上位となっているため、他地域で地震等が発生したタイミングでマスメディアやSNSを活用した啓発を行うと共に、家族での話し合いを促すことが有効だと考えられる。
- 家具の転倒防止を行っていない理由として、「手間や費用がかかるから(24.3%)」や「どのようにすればよいかわからないから(17.2%)」という回答が比較的多いため、住まい方に応じた固定の工夫の仕方などのケース別の情報を発信する必要がある。

イ 有識者による分析や示唆を受けての取組等

- あらゆる広報媒体を活用して非常持出品の用意や備蓄、家具の転倒防止を啓発する。特に大きな災害があった際などには、時機を逃さずタイムリーに実施する。
- ホームページ・SNSでの情報発信や報道機関との連携により、引き続き、備蓄品のローリングストック法や具体的品目・量、商品の紹介などの情報発信に取り組む。

- 小売店舗やホームセンター、家電量販店等の協力を得て、引き続き「備えるフェア」を実施し、来店者等に対して、備えの必要性や効果的な転倒防止方法の啓発や、非常持出品、備蓄品、転倒防止対策商品等の紹介を行う。

防災・減災に関するアンケートへのご協力をお願い

日頃から県行政の推進にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の推進にあたり、防災・減災に関する県民の皆様の意識や行動内容及び情報の入手手段などの実態を把握して、今後の防災・減災対策に活かすため、概ね年に一度、防災・減災に関するアンケートを行うこととしております。

このアンケートは県内にお住まいの18歳以上の方5,000人を選挙人名簿から無作為に選んで行うものです。調査で得た結果はすべて統計的に処理をし、調査以外の目的では使用いたしませんので、皆様にご迷惑がかかることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、自然災害による死者ゼロの実現を目指し、この取組を今後、さらに効果的に進めていくため、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和8年1月

広島県危機管理監みんなで減災推進課

ご記入にあたってのお願い

- 質問は、全部で約50問あります。ご本人(封筒の宛名の方)がお答えください。ご本人の記入が難しい場合は、ご本人の意向を確認いただき、ご家族の方等がご記入ください。
- 調査票や封筒にあなたのご住所、お名前を記入する必要はありません。
- アンケートの所要時間は15分程度です。
- ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○をしてください。選択肢で「その他」を選択した場合は()内に内容を具体的にご記入ください。
- 設問ごとに(○は1つ)(○はいくつでも)など指定されていますので、ご注意ください。
- 設問によって回答していただく方が限られる場合があります。説明文や矢印に従ってお進みください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**2月6日(金)**までに投函してください。返送先は調査の実施・集計を委託している株式会社サーベイリサーチセンターになります。

広島県危機管理監みんなで減災推進課

住所:〒730-8511 広島市中区基町10番52号

電話:082-513-2782

FAX:082-227-2122

Eメール:kikigensai@pref.hiroshima.lg.jp

I あなたの災害に対する意識とご経験についてお尋ねします

【全員にお尋ねします。】

問1 あなたのお住まいの地域では、どのような災害の危険性が想定されているか知っていますか。
(○は1つ)

- | | | |
|----------------|---|-------|
| 1 知っている | → | 問2～3へ |
| 2 知りたいが知らない | } | 問4へ |
| 3 知らないし知る必要がない | | |

【問1で災害の危険性について「1 知っている」と回答した方にお尋ねします。】

問2 あなたのお住まいの地域の災害の危険性の有無をどのようなきっかけで知りましたか。
(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 自分でパソコンを使ったり、人に聞いたりして調べた |
| 2 家族に聞いた(話し合った) |
| 3 地域の方(個人、自主防災組織、消防団など)に教えてもらった |
| 4 地域の住民ではない友人や知人に教えてもらった |
| 5 市役所(町役場)の人に教えてもらった |
| 6 職場で教えてもらった |
| 7 学校で教えてもらった |
| 8 マイ・タイムライン ^(※) を作成する過程で知った |
| 9 地域のイベント(防災講演会や避難訓練など)に参加した |
| 10 自ら災害を経験した |
| 11 家族、親戚・知人が災害を経験した |
| 12 その他() |

※ マイ・タイムライン:自宅周辺の災害リスクを確認し、避難のタイミングや避難先などを整理するツール

【問1で災害の危険性について「1 知っている」と回答した方にお尋ねします。】

問3 災害の危険性を確認した方法をお答えください。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 ホームページなどで公開されているハザードマップ ^(※) |
| 2 市町が紙に印刷して配布したハザードマップ ^(※) |
| 3 県の防災Webや市町のホームページなどで公開している震度分布図、揺れやすさマップ、土砂災害警戒区域図・特別警戒区域図、洪水・高潮・津波浸水想定区域図等 |
| 4 地域住民が独自に作成した防災マップ |
| 5 Yahoo!防災速報アプリ(防災タイムライン) |
| 6 地域防災タイムライン |
| 7 地域のイベント(防災講演会や避難訓練など)に参加した |
| 8 実際に地域を歩いてみた |
| 9 その他() |

※ハザードマップ:自然災害(地震・津波・洪水・土砂災害等)による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被害想定区域や避難場所などを表示した市町が作成する地図

※地域防災タイムライン:個人の避難行動に関する内容(災害リスクの確認など)と災害時の地域住民相互での声掛けに関する内容(声掛け先など)を一体的に備えるツール

【全員にお尋ねします。】

問4 あなたは災害に対して不安を感じていますか。各項目について該当する番号1つを○で囲んでください。(①~③各項目で○は1つ)

| | まったく 感じていない | 少しは 感じている | とても 感じている |
|---------|----------------|--------------|--------------|
| ① 大雨 | 1 | 2 | 3 |
| ② 台風・強風 | 1 | 2 | 3 |
| ③ 地震・津波 | 1 | 2 | 3 |

問5 あなたは、事前に避難のタイミングを決めていますか。(○は1つ)

- 1 高齢者等避難、避難指示などの避難情報が発令された時に避難することを決めている
- 2 大雨注意報、大雨警報などの気象情報が発表された時に避難することを決めている
- 3 水位などの周辺の状況で避難することを決めている
- 4 その他()
- 5 避難するタイミングを決めていない

【問5で1～4(避難するタイミングを決めている)のいずれかを回答した方にお尋ねします。】

問6 避難のタイミングを決めたきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 自ら災害を経験した
- 2 家族、親戚・知人が災害を経験した
- 3 自ら災害を経験していないが、災害に関する報道を見て避難のタイミングを決めることが必要と感じた
- 4 マイ・タイムラインを作成した
- 5 地域のイベント(防災講演会や避難訓練など)に参加した
- 6 学校で防災について学習した
- 7 職場で防災について話があった
- 8 地域の方(個人・自主防災組織・消防団)から話があった
- 9 その他()

【全員にお尋ねします。】

問7 あなたは、災害のおそれがある際に、家族や親戚、近所の人や知人等に避難の声掛け(電話やメール、LINEでの連絡も含む)を行うかを決めていますか。(○は1つ)

- 1 決めている
- 2 決めていない

Ⅱ あなたの災害に対する備えや災害時の行動についてお尋ねします

【全員にお尋ねします。】

問1 あなたがお住まいの地域は、水害・土砂災害の危険性がありますか。お住まいが該当する区域に立地するかお答えください。(①、②各項目で○は1つ)

| | 自宅が区域に立地している | 自宅は区域に立地していない | 分からない |
|--------------------------|--------------|---------------|-------|
| ① 洪水浸水想定区域 | 1 | 2 | 3 |
| ② 土砂災害警戒区域 土砂災害特別警戒区域 | 1 | 2 | 3 |

【問1で②土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に「1 自宅が区域に立地している」と回答した方にお尋ねします。】

問1-1 あなたがお住まいの地域は土砂災害警戒区域(イエローゾーン)か土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)のどちらですか。(○は1つ)

- 1 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)
- 2 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
- 3 どちらに該当するか分からない

【全員にお尋ねします。】

問2 あなたは、災害の危険性(土砂災害や洪水)に応じた避難先や避難経路の確認をしたことがありますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---|-------|
| 1 したことがない | → | 問2-1へ |
| 2 少ししたことがある | } | 問2-2へ |
| 3 かなりしたことがある | | |
| 4 十分にしたことがある | | |

【問2で「1 したことがない」と回答した方にお尋ねします。】

問2-1 確認したことがないのはなぜですか。(○は1つ)

- 1 自宅のすぐ近くに避難場所があるから
- 2 マンションなどの高層に住んでいるので(浸水時には)安全確保ができるから
- 3 自宅に災害の危険性がないから
- 4 確認する方法が分からないから
- 5 その他()

【問2で「2 少ししたことがある」「3 かなりしたことがある」「4 十分にしたことがある」と回答した方にお尋ねします。】

問2-2 「避難先や避難経路」をどのような方法で確認しましたか。(○はいくつでも)

- 1 市町が配布したハザードマップ
- 2 県のホームページや国や市町などのホームページ
- 3 スマートフォンなどに登録したアプリ(Yahoo!防災速報アプリ)
- 4 スマートフォンなどに登録したアプリ(ひろしま避難誘導アプリ「避難所へ Go!」)
- 5 スマートフォンなどに登録したアプリ(その他のアプリ)
- 6 地域住民が独自に作成した防災マップ
- 7 地域の方(個人、自主防災組織、消防団など)から教えてもらった
- 8 市役所(町役場)の人から聞いた
- 9 地域防災タイムライン
- 10 地域の行事、イベント(防災講演会や避難訓練など)
- 11 実際に地域を歩いてみた
- 12 その他()

【全員にお尋ねします。】

問3 あなたは、災害のおそれがある際や地域行事等の際に、市町が指定する避難場所に行ったことがありますか。(○はいくつでも)

- 1 災害のおそれがある際に、市町が指定する避難場所に避難したことがある
- 2 地域行事(お祭り、運動会、避難訓練等)の際に、市町が指定する避難場所となる施設に行ったことがある
- 3 市町が指定する避難場所に行ったことがない

問4 あなたは、避難先を2か所以上決めていますか。また、避難先までの避難経路の確認を行っていますか。なお、避難先は、市町が指定している避難場所でなくとも、安全な場所(親族・知人宅、宿泊施設など)であれば構いません。(○は1つ)

- 1 2か所以上決めており、どの道を通るか確認も行っている
- 2 2か所以上決めているが、どの道を通るか確認は行っていない
- 3 1か所だけ決めている
- 4 まったく決めていない

問5 災害が起こりそうな場合に、気象情報(大雨警報など)、避難情報などの防災情報をどのような方法で入手していますか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 テレビ |
| 2 テレビのデータ放送 |
| 3 ラジオ |
| 4 インターネット(気象庁やNHKのホームページなど) |
| 5 県や市町の防災情報メール |
| 6 スマートフォンなどに登録したアプリ(県や市町のアプリ) |
| 7 市町の防災無線 |
| 8 スマートフォンなどに登録したアプリ(Yahoo!防災速報アプリなど民間のアプリ) |
| 9 X(旧ツイッター)やフェイスブックなどの SNS |
| 10 町内の人や消防団等からの連絡 |
| 11 固定電話向けの一斉電話伝達サービス |
| 12 その他() |
| 13 入手していない |

【問5で「4 インターネット」と回答した方にお尋ねします。】

問5-1 防災情報をインターネットで入手する際、次のサイト等を利用したことはありますか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1 広島県防災 Web | 5 広島県ため池マップ |
| 2 広島県河川防災情報システム | 6 Yahoo!大雨警戒レベルマップ |
| 3 土砂災害ポータルひろしま | 7 上記以外のサイト等を利用したことがある |
| 4 津波・高潮災害ポータル | |

【全員にお尋ねします。】

問6 あなたは、携帯電話・スマートフォンまたはタブレット端末を持っていますか。(〇は1つ)

- | |
|-----------------------------|
| 1 スマートフォンまたはタブレット端末を持っている |
| 2 携帯電話を持っており、メール機能も使用している |
| 3 携帯電話を持っているが、メール機能は使用していない |
| 4 いずれも持っていない |

問7 あなたは、防災情報メールや防災アプリ(Yahoo!防災速報アプリ、NHK ニュース・防災アプリ等)などの登録を行っていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|---------|
| 1 登録している | → 問7-1へ |
| 2 登録していない | → 問7-2へ |

【問7で「1 登録している」と回答した方にお尋ねします。】

問7-1 防災情報メール、防災アプリなどを登録した理由、きっかけは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1 県や市町などのホームページ | 10 マイ・タイムラインの作成 |
| 2 テレビ・ラジオ | 11 県や市町の防災訓練、防災教室 |
| 3 県や市町の広報誌 | 12 職場や学校 |
| 4 新聞の記事や特集 | 13 家族 |
| 5 新聞折り込み広告 | 14 地域の人 |
| 6 防災情報メール・防災アプリを紹介したチラシ | 15 知人(地域の人以外) |
| 7 インターネット広告 | 16 携帯電話・スマートフォン、タブレット端末等の販売店 |
| 8 XやフェイスブックなどのSNS | 17 その他() |
| 9 県や市町、地域のイベント | |

【問7で「2 登録していない」と回答した方にお尋ねします。】

問7-2 登録していない理由は何ですか。(○は3つまで)

- | |
|-----------------------------|
| 1 登録方法が分からないから |
| 2 登録方法が複雑で面倒だから |
| 3 住んでいる場所が安全なため登録する必要性がないから |
| 4 防災に関心がないから |
| 5 通知の回数が多すぎるから |
| 6 防災以外に役立つ情報が少ないから |
| 7 通信料がかかるから |
| 8 その他() |

【全員にお尋ねします。】

問8 あなたは現在、3日以上以上の食料や飲料水を買置き(備蓄)していますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|---------|
| 1 まったくしていない | → 問8-1へ |
| 2 少しはしている | } 問8-2へ |
| 3 かなりしている | |
| 4 十分にしている | |

【問8で「1 まったくしていない」と回答した方にお尋ねします。】

問8-1 買置きをしていないのは、なぜですか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 親族宅などを避難先として考えており、買っておく必要がないから |
| 2 普段から食料品を数日分買って、災害時に使うつもりだから |
| 3 自分で多めに買っておく経済的余裕がないから |
| 4 何をどれくらい買ってあげば良いか分からないから |
| 5 災害が起きても自分が被災する可能性が低いから |
| 6 買っても消費期限が来たら、無駄になるから |
| 7 保管する十分なスペースがないから |
| 8 3日間も食料や飲料水が入手できなくなるような災害は起きないと思っているから |
| 9 災害時には行政が支給してくれると思っているから |
| 10 その他() |

【問8で「2 少しはしている」「3 かなりしている」「4 十分にしている」と回答した方にお尋ねします。】

問8-2 「3日以上以上の食料や飲料水の買置き」を行ったきっかけは、なんですか。(○はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 県や市町などのホームページ |
| 2 テレビ・ラジオ |
| 3 県や市町の広報誌 |
| 4 インターネットや SNS |
| 5 県や市町、地域のイベント |
| 6 県や市町の防災訓練、防災教室 |
| 7 マイ・タイムラインの作成 |
| 8 Yahoo!防災速報(防災タイムライン) |
| 9 職場や学校 |
| 10 家族・知人 |
| 11 スーパーやホームセンター等の販売店で防災コーナーがあったから |
| 12 避難した経験があるから |
| 13 大きな災害があったから |
| 14 その他() |

【全員にお尋ねします。】

問9 あなたは、現在、食料と飲料水以外の防災グッズ(懐中電灯、携帯・スマホの充電器など^(※))の準備を行っていますか。(○は1つ)

※これらは例示なので、あなたご自身や、あなたのご家族が必要とする防災グッズを準備している場合は「している」(2~4のいずれか)を選択してください。

- | | |
|-------------|---------|
| 1 まったくしていない | → 問9-1へ |
| 2 少しはしている | } 問10へ |
| 3 かなりしている | |
| 4 十分にしている | |

【問9で「1 まったくしていない」と回答した方にお尋ねします。】

問9-1 準備をしていないのは、なぜですか。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------|
| 1 親族宅などを避難先として考えており、準備する必要がないから |
| 2 自分で準備する経済的余裕がないから |
| 3 何をどれくらい備えればよいか分からないから |
| 4 災害が起きても自分が被災する可能性が低いから |
| 5 備えていても使用期限が来たら、無駄になるから |
| 6 保管する十分なスペースがないから |
| 7 物資を入手できなくなるような災害は起きないと思っているから |
| 8 災害時には行政が支給してくれると思っているから |
| 9 その他() |

【全員にお尋ねします。】

問 10 あなたが、防災について学んだり、地域、職場、あるいは学校で、防災教室や防災訓練、イベント等に参加した内容をお答えください。(〇はいくつでも)

- 1 地域のイベントや行事(防災訓練など)
- 2 職場、または学校の行事や研修、防災訓練等
- 3 県が実施している6月の「一斉防災教室^{※1}」、または、11月の「一斉地震防災訓練^{※2}」
- 4 マイ・タイムラインの作成
- 5 防災に関する講演会や防災フェアなどのイベント
- 6 防災(地震や津波など)について取り上げた動画を見た
- 7 防災について取り上げたテレビ番組を見た
- 8 防災について取り上げた新聞、雑誌、チラシ等を見た
- 9 インターネットで調べた
- 10 スマートフォンなどに登録したアプリで調べた
- 11 近所同士・知人と防災について話した
- 12 家族で防災について話した
- 13 その他()
- 14 上記のいずれにも参加していない → 問10-1へ

※1 一斉防災教室:県が作成した教材をもとに災害危険箇所、避難場所及び避難経路の確認や状況に応じた避難行動などを身につけていただくため、昨年5~6月にかけて行った取組

※2 一斉地震防災訓練:県が作成した教材をもとに、昨年11月に行った、地震から命を守るための行動をとる訓練

【問10で「14 上記のいずれにも参加していない」と回答した方にお尋ねします。】

問 10-1 防災教室や防災訓練、イベント等に参加されなかったのは、なぜですか。(〇はいくつでも)

- 1 時間が長いため
- 2 内容についてはすでに理解しているから
- 3 敷居が高く、参加しにくい雰囲気があるから
- 4 参加する必要性がないから
- 5 関心がないから
- 6 具体的にどのようなことをするものなのか分からないから
- 7 参加者が限定されているから
- 8 参加しても、いざというときに役立つかどうか疑わしいから
- 9 仕事や家事、育児で忙しかったから
- 10 その他()
- 11 実施していることを知らなかったから
- 12 地域で開催されていないから

「マイ・タイムライン」(災害があった時の行動計画)は、自宅周辺の災害リスクを確認し、避難のタイミングや避難先などを整理するツールです。

※同種のものであれば「マイ・タイムライン」という名称でなくてもよいです。

(例)広島市「たちまち防災」の付録「わが家の避難シート」

福山市水害ハザードマップの情報面「わが家のマイ・タイムライン」など

【全員にお尋ねします。】

問 11 あなたは、「マイ・タイムライン」(災害があった時の行動計画)を知っていましたか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|---|--------|
| 1 知っていた | → | 問 12 へ |
| 2 知らなかった | → | 問 13 へ |

【問 11 でマイ・タイムラインを「1 知っていた」と回答した方にお尋ねします。】

問 12 あなたが知っていた「マイ・タイムライン」は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|-----------------------------|
| 1 ひろしまマイ・タイムライン(冊子版) |
| 2 ひろしまマイ・タイムライン(WEB 版) |
| 3 Yahoo!防災速報アプリの防災タイムライン |
| 4 地域防災タイムライン |
| 5 LINE 版マイ・タイムライン(わが家の避難計画) |
| 6 その他() |

【問 12 で「1 ひろしまマイ・タイムライン(冊子版)」「2 ひろしまマイ・タイムライン(WEB 版)」と回答した方にお尋ねします。】

問 12-1 「ひろしまマイ・タイムライン」をどこで知りましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 県や市町などのホームページ | 7 子供が学校から持って帰ってきた |
| 2 テレビ・ラジオ | 8 職場や学校 |
| 3 県や市町の広報誌 | 9 家族 |
| 4 県や市町の防災教室 | 10 地域の人 |
| 5 県の SNS(X、フェイスブックなど) | 11 知人(地域の人以外) |
| 6 県以外の SNS | 12 その他() |

【全員にお尋ねします】

問 13 あなたのご家庭では、マイ・タイムライン(災害があった時の行動計画)を作成していますか。
 「マイ・タイムライン」という名称でなくても自宅周辺の災害リスクの確認、避難のタイミング、
 避難場所などを確認したことがある方は、「1 作成している」を選択してください。(〇は1つ)
 ※あなたご自身でなくても、同居しているご家族のどなたかが作成している場合は「作成して
 いる」とお答えください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 作成している | → 問 13-1へ |
| 2 作成していない | → 問 14 へ |

【問 13 でマイ・タイムラインを「1 作成している」と回答した方にお尋ねします。】

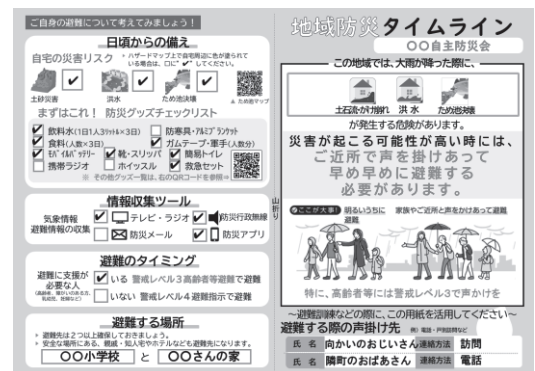
問 13-1 あなたが作成した「マイ・タイムライン」は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|--|
| 1 ひろしまマイ・タイムライン(冊子版) | |
| 2 ひろしまマイ・タイムライン(WEB 版) | |
| 3 Yahoo!防災速報アプリの防災タイムライン | |
| 4 地域防災タイムライン | |
| 5 LINE 版マイ・タイムライン(わが家の避難計画) ※家族などに代わりに作ってもらった人も含む。 | |
| 6 上記以外で自宅周辺の災害リスク、避難のタイミング、避難場所を確認している | |
| 7 その他() ※例:家族で話し合った など | |

下図は「マイ・タイムライン」の例示です。
 「マイ・タイムライン」という名称に限定せず、ご回答ください。



【ひろしまマイ・タイムライン】



【地域防災タイムライン】



【LINE 版マイ・タイムライン】
 広島県公式 LINE で設定するもの

【問 13-1で「1 ひろしまマイ・タイムライン(冊子版)」「2 ひろしまマイ・タイムライン(WEB 版)」と回答した方にお尋ねします。】

問 13-2 あなたが「ひろしまマイ・タイムライン」を作成しようと思ったきっかけは何ですか。

(○はいくつでも)

- 1 子供が学校から持って帰ってきたから、または子供が作りたいと言ったから
- 2 もともとマイ・タイムラインに関心があったから
- 3 防災教室や防災講演会などで作ることを勧められたから
- 4 広島県が作成を推奨していることを知ったから
- 5 人から作成することを誘われたから
- 6 災害に関する報道を見て必要だと思ったから
- 7 引っ越しなどで環境が変わったから
- 8 その他()

【問 13-1で「1 ひろしまマイ・タイムライン(冊子版)」「2 ひろしまマイ・タイムライン(WEB 版)」と回答した方にお尋ねします。】

問 13-3 「ひろしまマイ・タイムライン」を作成してどう感じましたか。(○はいくつでも)

- 1 簡単に作成できた
- 2 作成するのが大変難しかった
- 3 作成するのに大変な時間がかかった
- 4 災害が起こりそうなときに参考にしたら、適切な避難ができると感じた
- 5 作成する過程で、防災に関するさまざまな知識を得た
- 6 適切に作れているか不安である
- 7 災害時に本当に役立つか疑わしい
- 8 その他()

【問 13-1で「4 地域防災タイムライン」と回答した方にお尋ねします。】

問 13-4 地域防災タイムラインを作成してどう感じましたか。(〇はいくつでも)

- 1 簡単に作成できた
- 2 作成するのが大変難しかった
- 3 作成するのに大変な時間がかかった
- 4 災害が起こりそうなときに参考にしたら、適切な避難ができると感じた
- 5 作成する過程で、防災に関するさまざまな知識を得た
- 6 適切に作れているか不安である
- 7 災害時に本当に役立つか疑わしい
- 8 その他()

【問 13 でマイ・タイムラインを「2 作成していない」と回答した方にお尋ねします。】

問 14 作成しなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

- 1 マイ・タイムラインを作成しなくても、自宅周辺の災害リスクや避難先、避難のタイミングなどは頭に入っている
- 2 自宅が安全な場所にある
- 3 マイ・タイムラインは知っていたが、自分が作成することは考えたことがなかった
- 4 マイ・タイムラインは知っていたが、具体的にどんなものかはよく分かっていなかった
- 5 マイ・タイムラインが役に立つかどうか分からなかった
- 6 興味はあったが、作成するのが面倒だった
- 7 興味はあったが、作成する時間がなかった
- 8 作成したかったが、どうやって教材を入手したら良いか分からなかった
- 9 調べてみると作成方法が難しそうだった
- 10 作り方が難しく途中で作成を諦めた
- 11 マイ・タイムラインを知らなかった
- 12 その他()

【問 13 でマイ・タイムラインを「2 作成していない」と回答した方にお尋ねします。】

問 14-1 あなたは、これからマイ・タイムラインを作成しようと思いますか。(○は1つ)

- 1 作成しようと思う
- 2 作成する必要性がわからないので、作成しようと思わない
- 3 必要だと思うが、作成するのが面倒なので、作成しようと思わない
- 4 わからない

【全員にお尋ねします。】

問 15 あなたは、今現在、家具などの転倒の防止(*)を行っていますか。(○は1つ)

※家具などの転倒の防止…金具や突っ張り棒、ベルト等による家具固定、転倒防止板の挟み込みなどによる対策のほか、寝室にはできるだけ家具を配置しないなど、地震によって家具等の下敷きにならないための備えも含む。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 まったくしていない | → 問 15-1へ |
| 2 少しはしている | } 問 15-2へ |
| 3 かなりしている | |
| 4 十分にしている | |

【問 15 で「1 まったくしていない」と回答した方にお尋ねします。】

問 15-1 家具などの転倒防止を行っていないのはなぜですか。(○はいくつでも)

- 1 倒れそうな家具等は置いておらず転倒の防止を行う必要がないから
- 2 倒れそうな家具等はあるが、倒れても支障がないところに置いてあるから
- 3 実際に効果があるかどうか分からないから
- 4 大きな地震が起こるかどうか分からないから
- 5 住まいが賃貸住宅であるため、手を加えることができないから
- 6 手間や費用がかかるから
- 7 どのようにすればよいか分からないから
- 8 その他()

【問 15 で「2 少しはしている」「3 かなりしている」「4 十分にしている」と回答した方にお尋ねします。】

問 15-2 家具などの転倒の防止を行ったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|------------------------------|
| 1 県や市町などのホームページ | 8 家族 |
| 2 テレビ・ラジオ | 9 地域の人 |
| 3 県や市町の広報誌 | 10 知人(地域の人以外) |
| 4 インターネットや SNS | 11 ホームセンター等の販売店で防災コーナーがあったから |
| 5 県や市町、地域のイベント | 12 避難した経験があるから |
| 6 県や市町の防災教室、防災訓練 | 13 大きな災害があったから |
| 7 職場や学校 | 14 その他() |

【全員にお尋ねします。】

問 16 あなたは、海の近くにいる時に地震が起こった場合、どのタイミングで避難しますか。(〇は1つ)

- | |
|----------------------|
| 1 揺れが収まったらすぐ |
| 2 津波警報・津波注意報が発表されてすぐ |
| 3 避難指示が発令されたら |
| 4 近所の人たちが避難を始めたら |
| 5 津波が見えたら |
| 6 避難しない |
| 7 その他() |

問 17 あなたがお住まいの地域は、津波による浸水の危険性がありますか。お住まいが該当する区域に立地するかお答えください。(〇は1つ)

| | 自宅が区域に立地している | 自宅は区域に立地していない | 分からない |
|----------|--------------|---------------|-------|
| 津波災害警戒区域 | 1 | 2 | 3 |

問 18 あなたは、災害が発生するおそれが生じた際や実際に発災した場合に、あなたが避難する避難場所を知っていますか(小学校、公民館、集会所など)。(○は1つ)

| | | |
|----------------|---|-----------|
| 1 知っている | → | 問 18-1へ |
| 2 知らないが知りたい | } | 次ページⅢの問1へ |
| 3 知らないし知る必要がない | | |

【問 18 で「知っている」と回答した方にお尋ねします。】

問 18-1 問 18 で「1 知っている」と回答した避難場所について、設備の有無などを知っていますか。
各項目についてそれぞれ該当する番号1つに○をつけてください。

(①～④各項目で○は1つ)

| | 知っている | 知らないが 知りたい | 知らないし 知る必要がない |
|-----------------|-------|---------------|------------------|
| ①駐車場の有無や駐車可能な台数 | 1 | 2 | 3 |
| ②洋式トイレの有無や数 | 1 | 2 | 3 |
| ③バリアフリートイレの有無や数 | 1 | 2 | 3 |
| ④ペットの受け入れの可否 | 1 | 2 | 3 |

問6 現在、あなたご自身を含め、同居しているご家族の中に、次の方やペットがいますか。

(○はいくつでも)

| | | |
|-----------|----------------|-----------------------|
| 1 80歳以上の人 | 6 小学4年生 | 12 障がいのある人もしくは体が不自由な人 |
| 2 高校生 | 7 小学3年生 | 13 妊婦 |
| 3 中学生 | 8 小学2年生 | 14 病気の人 |
| 4 小学6年生 | 9 小学1年生 | 15 ペット |
| 5 小学5年生 | 10 未就学児童(3~5歳) | 16 いずれもない |
| | 11 乳児(3歳未満) | |

問7 ご家族の中でお身体の具合の関係で避難することが難しい方はいらっしゃいますか。(○は1つ)

| | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

問8 お住まいの住居について教えてください。(○は1つ)

| |
|-----------------|
| 1 戸建て |
| 2 集合住宅(マンション) |
| 3 集合住宅(マンション以外) |
| 4 その他() |

問9 お住まいの住居について教えてください。(○は1つ)

| | 1階以下 | 2階 | 3階 | 4階 | 5階以上 |
|-------------|------|----|----|----|------|
| ①建物全体の階数 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ②あなたがお住まいの階 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問10 防災・減災について自由なご意見をお願いします。

| |
|--|
| |
|--|

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
同封している封筒に入れて、2月6日(金)までにご返送ください。